

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（151）
2. 日時：令和3年6月9日 13時30分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官※、江崎企画調査官、藤原主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、伊藤安全審査官、藤川安全審査官、
杉原技術参与、谷口技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 課長、他5名

原子力本部 土木建築部 部長、他13名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1-1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（防潮堤）（O2-他-F-01-0039__改1）（令和3年5月19日提出資料）
- （1-2）補足-140-1 【津波への配慮に関する説明書の補足説明資料】（O2-補-E-01-0140-1__改12）（令和3年5月19日提出資料）
- （1-3）女川原子力発電所第2号機 津波漂流物の衝突荷重について（O2-他-F-24-0005__改4）
- （2-1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（土木耐震）（O2-他-F-19-0011__改6）（令和3年5月26日提出資料）
- （2-2）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（排気筒）（O2-他-F-01-0044__改1）（令和3年6月2日提出資料）

- (2-3) VI-2-2-5 復水貯蔵タンク基礎の地震応答計算書(〇2-工-B-19-0119__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-4) VI-2-2-6 復水貯蔵タンク基礎の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0120__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-5) VI-2-2-9 第3号機海水ポンプ室の地震応答計算書(〇2-工-B-19-0161__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-6) VI-2-2-10 第3号機海水ポンプ室の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0162__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-7) VI-2-2-13 軽油タンク室の地震応答計算書(〇2-工-B-19-0163__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-8) VI-2-2-14 軽油タンク室の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0164__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-9) VI-2-2-15 軽油タンク室(H)の地震応答計算書(〇2-工-B-19-0165__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-10) VI-2-2-16 軽油タンク室(H)の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0166__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-11) VI-2-2-17 ガスタービン発電設備軽油タンク室の地震応答計算書(〇2-工-B-19-0167__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-12) VI-2-2-18 ガスタービン発電設備軽油タンク室の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0168__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-13) VI-2-10-4-1 非常用取水設備の耐震性についての計算結果(〇2-工-B-19-0169__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-14) VI-2-10-4-2 貯留堰の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0170__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-15) VI-2-10-4-3 取水口の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0171__改0)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-16) VI-2-10-4-4 取水路の耐震性についての計算書(〇2-工-B-19-0121__改1)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-17) VI-2-1-5 波及的影響に係る基本方針(〇2-工-B-19-0008__改3)(令和3年4月22日提出資料)
- (2-18) VI-2-11-1 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針(〇2-工-B-19-0126__改1)(令和3年6月2日提出資料)
- (2-19) 補足-600-4 下位クラス施設の波及的影響の検討について(〇2-補-E-19-0600-4__改3)(令和3年6月2日提出資料)

料)

- (2-20) VI-2-11-2-15 第1号機排気筒の耐震性についての計算書 (O2-工-B-19-0172__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-21) 補足-610-18 第1号機排気筒の耐震性についての計算書に関する補足説明資料 (O2-補-E-19-0610-18__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-22) VI-2-11-2-16 前面護岸の耐震性についての計算書 (O2-工-B-19-0173__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-23) 補足-600-32 前面護岸の耐震性についての計算書に関する補足説明資料 (O2-補-E-19-0600-32__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-24) VI-2-11-2-17 第1号機取水路の耐震性についての計算書 (O2-工-B-19-0174__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-25) 補足-600-33 【第1号機取水路の耐震性についての計算書に関する補足説明資料】 (O2-補-E-19-0600-33__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-26) VI-2-11-2-18 第3号機取水路の耐震性についての計算書 (O2-工-B-19-0175__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-27) 補足-600-34 第3号機取水路の耐震性についての計算書に関する補足説明資料 (O2-補-E-19-0600-34__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-28) VI-2-11-2-19 北側排水路の耐震性についての計算書 (O2-工-B-19-0176__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-29) 補足-600-35 【北側排水路の耐震性についての計算書に関する補足説明資料】 (O2-補-E-19-0600-35__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-30) VI-2-11-2-20 アクセスルート (防潮堤 (盛土堤防)) の耐震性についての計算書 (O2-工-B-19-0177__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-31) 補足-600-36 【アクセスルート (防潮堤 (盛土堤防)) の耐震性についての計算書に関する補足説明資料】 (O2-補-E-19-0600-36__改0) (令和3年6月2日提出資料)
- (2-32) 補足-610-20 【屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について】 (O2-補-E-19-0610-20__改9) (令和3年6月2日提出資料)

- (2-33) 先行プラントとの差異に係る概要リスト（波及的影響評価）（O2-他-F-24-0010__改0）（令和3年6月2日提出資料）
- (2-34) 先行プラントの補足説明資料との差異に係る概要リスト（屋外重要土木構造物）（O2-他-F-01-0061__改1）（令和3年6月2日提出資料）
- (2-35) 女川原子力発電所第2号機土木構造物の耐震評価手法一覧（O2-他-F-01-0066__改0）（令和3年5月26日提出資料）
- (2-36) 第1号機排気筒の耐震性についての計算書に関する補足説明資料に係る追加説明資料（O2-他-F-19-0032__改0）（令和3年6月2日提出資料）
- (2-37) VI-2-1-8 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針（O2-工-B-19-0012__改1）（令和3年5月13日提出資料）
- (2-38) VI-2-12-1 水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果（O2-工-B-19-0124__改0）（令和3年5月13日提出資料）
- (2-39) 補足-600-5 水平2方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について（O2-補-E-19-0600-5__改0）（令和3年5月13日提出資料）
- (2-40) VI-2-2-11 原子炉機器冷却海水配管ダクト（水平部）の地震応答計算書（O2-工-B-19-0155__改0）（令和3年5月26日提出資料）
- (2-41) VI-2-2-12 原子炉機器冷却海水配管ダクトの耐震性についての計算書（O2-工-B-19-0156__改0）（令和3年5月26日提出資料）
- (2-42) VI-2-10-4-4 取水路の耐震性についての計算書（O2-工-B-19-0121__改0）（令和3年5月26日提出資料）
- (2-43) 補足-610-20 【屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について】（O2-補-E-19-0610-20__改8）（令和3年5月26日提出資料）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、規制庁フジワラです。時間がありましたら、ヒアリングの方始めたいと思います。説明のほうをお願いします。
0:00:12	東北電力の田村です。初めに、
0:00:15	漂流物の衝突荷重について説明をいたします。
0:00:20	パワーポイントの形式の資料でございます。
0:00:28	ページをめくっていただきまして1ページに、
0:00:32	前回4月の会合における指摘事項とそれから回答の概要について示しておりますので、
0:00:41	ここに記載をしております。指摘事項につきましては、
0:00:47	4月27日のAとラップアップで確認をしているコメント指摘内容の内容と少し
0:00:57	反映できてないということございまして、次回確実に反映させていただこうと思っておりますけれども、その点ちょっと書き方といいますか文言が違いますので、画面共有をさせていただいているような状況でございます。
0:01:17	4月27日の指摘事項につきましては、読み上げますけれどもFRP製の船舶の衝突荷重の算定について以下の点を含めて妥当性、
0:01:30	設計の適用性をそれぞれ体系立てて説明を整理して説明することということでございまして三つございます。
0:01:39	一つが、土木学会の手法では、構成船舶を対象としていることから、材質及び構造の観点を踏まえて、FRP製船舶に適用できるとした根拠、
0:01:50	二つ目といたしまして、軸剛性の算定における材質及び構造のばらつきを含めた保守性
0:01:57	三つ目が、衝突の解析の位置付け及び衝突形態の不確かさを考慮した解析結果
0:02:05	これらを
0:02:08	含めて妥当性それから設計の適用性を体系立てて整理して説明するというのが、
0:02:15	前回の会合の指摘事項でございます。それに対しましては、回答の概要でございますけれども、回答の概要につきましてはこの1ページに書いてある下の表のところございまして、
0:02:29	3点いただいている指摘に関してはこの回答の概要も三つに分けて整理しております。
0:02:37	指摘の一つ目の
0:02:39	所に対しましてはハー表の上のところになりまして、
0:02:44	FRP船舶の軸剛性 3.2。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:46	方法に関する妥当性のところで、
0:02:49	回答の概要を記載しております右側のほうに記載箇所を載せております。
0:02:56	この内容につきましては、衝突時における船舶の破壊に関する整理を行った上で構成船舶を対象としている土木学会を用いてFRP製船舶の実効性を算定する方法が妥当であるということを文献調査の結果から、
0:03:11	確認をしております。以下、
0:03:15	出てのところで書いてある三つの観点で確認をしているということでございます。
0:03:22	それから二つ目の指摘事項でございますが保守性の観点のところでございますが、こちらにつきましては表の2行目でございまして、
0:03:32	土木学会の方法を用いた時刻校正より算出する。
0:03:37	衝突荷重の設計の適用性ということで、
0:03:42	土木学会の方法を用いた軸剛性より算出する実剛性衝突荷重が設計の適用性があるというふうなことについて、0. 三つで示しておりますが、こちらの内容を踏まえて、閉確認をしたというものでございます。
0:03:58	いずれも保守性があるというようなことで確認をしているものでございます。それから指摘の三つ目。
0:04:06	衝突解析の位置付けと衝突形態の不確かさを考慮した解析結果についてでございますが、こちらが表の一番下でございまして、
0:04:16	衝突解析の位置付けについて明確にした上で、
0:04:21	それと会合でお示ししていなかった横からの衝突、それから斜めからの衝突ということについても衝突解析を実施しておりますので、その結果を追加して、
0:04:35	土木学会のほうから算出される軸を生で出てくる荷重よりも小さい包絡されるということを確認したということでございます。
0:04:46	指摘事項とそれから回答概要。
0:04:50	については以上でございまして、
0:04:53	移行を前回5月31日にヒアリングをさせていただいておりますので、そのときのコメントに対して、修正した箇所等について、
0:05:04	説明をさせていただきます。2ページをお願いいたします。
0:05:10	2ページでは、漂流物による影響について全体を示したものでございまして、
0:05:18	左下のほうに、前回の会合の指摘事項を踏まえて、本日御説明する項目ということで記載しておりますが、
0:05:28	この矢印で御照査してございますが、漂流物による衝突荷重の算定というV章について今回回答をするということでございますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:38	次のページからはー5章だけを抜き取った形で資料を作ったということがございます。
0:05:45	3ページ4ページは変更ございませんで、5ページお願いいたします。
0:05:55	5ページと6ページにつきまして、両方ともフロー側の設定を持っておりまして、併せて、
0:06:03	説明させていただきますが、
0:06:06	まず、
0:06:07	5ページのほうで
0:06:10	右側のフローの右側のほうに点線で書いているところが小型船舶のFRPの船舶の
0:06:18	荷重の算定の流れでございまして、
0:06:23	一番上の四角から流れる矢印で右側のほうにFRP製船舶の衝突形態による影響の確認という矢印がございますが、この矢印の位置を5ページ6ページともに修正をしております。
0:06:39	それから6ページのほうで、その矢印の脇に、
0:06:44	と衝突形態による影響の確認をなぜするのかといったようなことについて補足的に
0:06:51	書いているものでございます。それから
0:06:56	5ページ6ページこれも両方とも同じでございまして、ヘッド衝突形態の一番下のほうに期間分の影響の確認ということで、
0:07:06	当選日方向からぶつかったときに、時幹部の影響があるということを確認しておりますので、その影響の確認の矢印を追記しているものでございます。
0:07:19	それから、
0:07:23	6ページのほうの上に三つ矢羽がございまして、一つ目の矢羽の文章について少し修正を加えております。
0:07:36	土木学会の方法で軸剛性を出す場合に船首方向からの実効性を算出しておりますけれども、当時。
0:07:46	先週方向からの軸剛性校へ出すことの代表性みたいなものについて、
0:07:54	追加を記載の追加をしております。そちらについては、
0:07:59	1行目の途中から軸剛性につきましては、海岬原で示されている軸剛性と同様に船首方向からの軸剛性とするということで、
0:08:11	海岬腹の論文でも船首方向からの軸剛性を算出しているということがございますので、こちらに参考に、同様の方向の軸を算出したということがございます。
0:08:26	それから、
0:08:31	15ページに移っていただきまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:41	55 ページのほうから軸剛性の保守性の確認方法方針。
0:08:49	を記載してございます。
0:08:51	前回では保守性を確認する。
0:08:57	内容とそれから前段で妥当性を確認するフェーズがあったんでございますが、妥当性を確認する。
0:09:06	したものとそれから保守性を確認したものへと材料物性の
0:09:11	設定値が少しわかりにくいというような
0:09:18	コメントをいただいておりますので、15 ページの下の表で分類しております右側の
0:09:25	本の列に列で、
0:09:27	妥当性を確認した率それから保守性を確認した率ということで、それぞれ
0:09:34	採用する辺りについて下線の引いてわかるようにしてございます。
0:09:42	それから、
0:09:47	23 ページをお願いいたします。
0:09:52	23 ページにつきましては、左下のほうに利益的のグラフを載せてございますけれども、
0:10:00	前回ではケース 3 の線を日本載せてございおりましたけれども、実際には
0:10:08	ケース 3 については通常のケース 3 とケース 3' ケース 3 通出しということで三つありましたので、
0:10:18	今回 3 本の線を引いたということでございます。
0:10:23	それから、23 ページにつきましては、5 月 31 日のヒアリングでの議事概要にもございましたが、
0:10:37	あと、
0:10:40	衝突解析について保守性の観点から付加質量を考慮の有無を踏まえたFEM A式との
0:10:48	衝突荷重の比較、それから、衝突解析等FEMAつきとの関係性ということでコメントいただいております、こちらにつきまして、
0:11:01	23 ページそれから 24 ページで、
0:11:04	該当するような形になっております。
0:11:07	コメントしては、
0:11:10	24 ページのほうが、
0:11:12	メインになりますので、24 ページをお願いいたします。
0:11:17	24 ページの
0:11:22	矢羽が、四つございますが、一番下のなお書きのところになりますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:31	えっと衝突解析につきましては、期中衝突を模擬しているということでございまして、付加質量の影響含めメール必要があるというふうに考えてございまして、
0:11:41	ちょっと設計上の配慮といたしまして、衝突解析等、それから津波による荷重、
0:11:47	については重畳させるという方針でございまして、
0:11:53	したがいましてええと津波による荷重を考慮することで、付加質量の影響はそちらのほうに含まれるということで考えてございまして、と衝突解析で出てきた結果に付加質量の影響というものは含めずに、考えるという整理をしております。
0:12:11	その上で、右側のほうにグラフを載せてございまして、
0:12:17	FEMA式で出てきたものと、それから、解析で出てきたものの比較をして、
0:12:23	FEMA好きの土木学会プラス暇式で算出した 1221 のほうが大きいということをごをグラフで示しているものでございまして。
0:12:35	それから、こちらが議事概要でいただいているし、コメントでございましてけれども、
0:12:42	と衝突荷重について、利益席で評価をする前提条件として、
0:12:48	衝突のヘッド作用時間それから傍聴抵当のこういう周期を比べて通り輝石で評価できるかどうかということをごを考察する、それから静的な荷重として設定する。
0:13:03	際のごを説明するということでございまして、
0:13:08	こちらにつきましては、23 ページのほうから、
0:13:13	と記載をしておりますけれども、23 ページの矢羽四つ目からでございまして、
0:13:20	と衝突事象を検討する際に衝突高等が離席で決まる領域、
0:13:27	通常利益積雪破壊の世界というふうな形で、
0:13:32	呼ばれておりますけれども、
0:13:35	と衝突荷重の作用時間とそれから日衝突体のこういう周期との関係で、離席で評価できるかどうかということが決まるという記載がございまして。
0:13:49	こちらを確認いたしましたが、
0:13:52	鋼管ぐいの固有周期というのが 0.1 秒。
0:13:56	程度でございまして、衝突荷重の作用時間に対して、
0:14:05	それほど短くないような状況でございまして、大体同じような
0:14:09	時間を
0:14:11	作用時間周期でございまして、理事席では、今回の事象は評価ができないというふうに整理をしております。
0:14:19	それから 24 ページのほうで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:24	一つ目の矢羽からになりますけれども、建築物の荷重指針にEを見ますと、
0:14:34	実験が得られてる場合については時刻歴の最大値で解析等で確認する場合については得られた時刻歴を参画等に近似して、その最大値を静的に設計荷重として与えるというような記載がございますので、
0:14:49	こういったことも踏まえて、参画等を確認しておりますけれども、最終的に時刻歴の最大荷重を静的にかけるということで考えてございまして、一番下の下線を引いているところでございますが、
0:15:07	衝突形態の影響を踏まえた最大荷重というものが、
0:15:12	と時刻歴で 1100kN程度になってございますので、
0:15:17	御テンションで、
0:15:19	設定した軸剛性から荷重を算出する場合、1221 でございますので、
0:15:25	こちらのほうが大きいということで、衝突影響衝突形態の影響というものは、
0:15:31	軸剛性を設定して出してくるか順番に包絡されるということを確認しております。
0:15:38	そういったことを踏まえて、一番下の右側になりますけれども、
0:15:44	と衝突荷重につきましてはFEMAの算定式から算出される 1221 キロニュートンが最大となったので、こちらの荷重を採用するという
0:15:55	流れでございます。
0:15:58	それから最後に、こちらでも議事概要でいただいているコメントでございますが、
0:16:05	FRP製船舶の有効軸剛性の妥当性に関わる検討として、
0:16:12	補正船舶に適用した。
0:16:14	検討例、こういったものを出している。
0:16:19	説明の充実化を図るということでございまして、8 ページのほうをお願いいたします。
0:16:29	8 ページのほうに土木学会の方ほうの
0:16:34	概要を初めに書いてございますが、こちらの二つ目の矢羽の最後のところに括弧書きで、
0:16:41	大型の構成船舶を対象に書いた木原 2017 で示されている軸剛性と
0:16:49	土木学会で算出した軸剛性の比較を参考 4 に示すということを書いてございます。
0:16:56	この海岬肌で示されているのがオガタの構成船舶の軸剛性でございますので、それと土木学会で算出した軸剛性がどれくらい
0:17:08	同じなのかということを確認しております。
0:17:14	ページでいくと。
0:17:15	30 ページでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:23	海岬幅の論文では 1 四つの
0:17:28	船のサイズでそれぞれ軸剛性を
0:17:31	掲載しておりますので、その軸剛性を土木学会の方法で算出算出してみたという こととございます。
0:17:40	一部先週の角度が不明なところがございまして、それぞれ蓋パターンを算 出をしておりますけれども、一番下の
0:17:52	業務になります、
0:17:57	海岬原で示されている有効軸剛性が一番下の行。
0:18:01	その一つ上の業務が土木学会で算出した有効軸剛性でございまして、
0:18:07	概ね同じような値であるということを確認したということとございまして、
0:18:12	細かく見ますと、土木学会の方法で算出した軸剛性のほうが大きくなっている ということも確認はしてございます。
0:18:23	5 月 31 日にいただいた。
0:18:27	コメントについては、
0:18:29	以上でございます。
0:18:32	説明以上でございます。
0:18:37	はい、説明を行ってございます。質疑に入ります。
0:18:50	規制庁のエザキです。今説明があった 30 ページ関係の話と比較として、有効 性の
0:19:00	妥当性ってということで、ある程度、
0:19:03	心配し信頼性を上げるということと示していただいて、
0:19:07	いるんですが、
0:19:08	またCが前回のヒアリングでコメントしている趣旨としては、
0:19:15	実際LS-DYNAの
0:19:20	実際の結果をですね、信頼性を上げるという。
0:19:25	意味で言ってます、ですから、ちょっとここ趣旨がずれてるかってこれはこれ で一つの一つのをエビデンスとしてなり得る。
0:19:34	とは思いますがちょっと私のほうから申し上げた、
0:19:39	そう信頼性構造っていうのはLS-DYNAの解析の信頼性をある程度高めるた めに、
0:19:47	実際のFEMA式との対応をある程度考えるべきではないかと思ってそうしたと きに、
0:19:55	やはり
0:19:57	実際の
0:20:02	強化プラスチック線の場合ですよね。場合はどうしてもやっぱり要素が

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:08	どんどん外れていってしまうと、衝突後ですねという問題もありますんで、前塗装粘りのある子構成のもので比較すれば、ある程度FEMAとほぼ
0:20:21	類似した状態になるのではないかなとは思うんですよね、これは単なる思ってるだけなんです、果たしてそれが補を立証できるのかどうかという検証。
0:20:35	適宜、または、検証しているものがすでにあるのであればということなんです、そういったことで、一応、既往の論文を参照してっていうことをそちらが言われたのは私として解釈したのは、あくまでもそういった、
0:20:49	どこかで
0:20:51	信頼できる。
0:20:54	数値実験的なものがある、それを示すのかなと思ってたんでちょっと足が1を
0:21:04	コメントした趣旨とはちょっとずれてるなと思っていますが、いかがでしょうか。
0:21:13	東北電力の田村です。
0:21:15	向性船舶の衝突でLS-DYNAを使っているのが、
0:21:25	ないという確認をしていないですね、前回のヒアリングのときに、私のほうから少し申し上げたのは、
0:21:33	土木学会の文献に
0:21:41	実際の
0:21:43	構造物、これは確かケーソンだったと思いますけれどもケーソンに船があったときの
0:21:50	接触圧とか、そういう数値が出て
0:21:54	いるので、そういったものを、は
0:21:58	衝突速度は非常に遅いですが、ある程度そういうのはもしかしたら使える。
0:22:03	のかなと思って、少しお話ししたので、LS-DYNAの構成船舶の結果があるということではない。
0:22:11	はい。以上です。期日ですが、LS-DYNA
0:22:16	もう検証にもなるし、実際LS-DYNA実際実験をしてるわけじゃなくて、津浪が出た分想定できるという全然立っているんで、そこはある程度もう少し信頼性を上げるということで、
0:22:28	今やっているかのケースで構成船舶をある程度模擬してみて、
0:22:38	続きまして10 数値解析の操作LS-DYNAのシミュレーションを行って被ばくの関係性と実際の創造ファイバーとの
0:22:48	ファイバ線との関係性を
0:22:51	考察できないかなと思っているんですが、いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:02	東北電力の田村です。
0:23:11	今FRP製船舶を対象にLS-DYNAでの解析というのが相当することの船で非常に小さいもので30ページにお示しているのは、
0:23:26	相当大きい不明でございますので、ちょっとその辺については、
0:23:32	直接こう比較ができないのかなと思っておりまして、
0:23:45	規制庁のエザキです。確かにそのFEMA自身はもともと等含めを回答しているわけではなくて、根底だとかですよね。
0:23:56	なので、例えば層ごとにどう構成船舶というような実現して、実際にあるわけではないんですけど、それをそう
0:24:06	歳出だけを変えてみたときに符合FEMA
0:24:11	でやってるものとどのような関係性にあるかということを確認にするということだけなんですけども。
0:24:17	目的としてはそれである程度、
0:24:20	聳者がかなり近似したような結果が出てくるのであれば、
0:24:24	同時、同時にLS-DYNAの結果もあれば信頼性が高まるのではないかと。
0:24:30	考えているんですが、
0:24:31	実際にあるものをどうこうということではなくともともと軸剛性は与えられているので、使えるという見込みがあるわけなんですけども、そもそもそう実際の実をする構成船舶、
0:24:48	によらなくてもいいんだと思うんですが、
0:24:52	この辺はちょっと難しいんですかね、有効性を与えるっていう観点では、
0:24:57	うーん。
0:25:02	広報等の方法は一緒に、条件、
0:25:07	変えるだけかなと思います。いわゆる
0:25:09	うん。
0:25:10	ジャックス強度と実際のヤング係数ポスト比が変わるだけかなと思うんですけど。
0:25:16	実際に実現をしないものだからそれは何なのかっていう話はあるかもしれないけど、実際、
0:25:22	同じ
0:25:24	なんでだろう。
0:25:26	状況、同一の条件として確認するというだけになりますけども、
0:25:35	東北電力の田村です。
0:25:44	構成船舶の
0:25:50	で確認するときのサイズ感については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:57	今モデルがあるのが相当することになるので、多分相当先行トン。
0:26:03	でしかちょっと対応が難しいかなと思ってるんですけど、
0:26:09	一方で
0:26:13	相当数 5トンの軸剛性一定とどうやるんですかと言われると、それはまた別途、
0:26:20	土木学会の方法等を出してFEMAに入れ込んでというそうそういうことをおっしゃられているということですか。
0:26:29	規制庁エザキです。基本的にはですね。
0:26:33	例えば
0:26:35	5トンの補正船舶ないから、板厚当然ね材料のいただとないわけですよ。だからそれはもうファイバー網を使うしかないと思うんですけども。
0:26:45	それで一応材質として違って、いわゆる完全なパイリニアでやって、
0:26:50	見て実際それと同等の条件でFEMA放散することって可能ですよね。
0:26:58	この条件でやったときに、材質が変わるだけっていう話になるんですけど。
0:27:02	場合によってちょっと余りにも早すぎるっていう話であれば、
0:27:06	Short速度は多少下げても構わないんですけど。
0:27:11	そうするとPマークっていうのは、
0:27:14	ファイバ船舶という
0:27:17	との比較もちょっとできなくなりますけど、でも少なくともFEMAと思って位置付け関係性がどういう関係性にあるのかってのは、
0:27:25	これは少ないかなと思うんですよ。
0:27:28	はい。
0:27:29	うん。
0:27:31	特に結果を疑ってるとかそういうことではないんだけど、あくまでもインダ書いたように実験をされますかっていうと、今そういう予定はないというお話をされているので、
0:27:42	ある程度そう数値解析だとか計算暴走に同姓の中で、基本的にはその適切性という方と性を
0:27:52	進めていくしかないと思うんですよ、御社の
0:27:56	方法としては、なので、できるだけそうならないように話を総合
0:28:05	理論構築をしていくべきだと思っていて、
0:28:08	そうすれば、その中で
0:28:12	向こうFEMAと。
0:28:14	そう。
0:28:16	もう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:18	実際のLS-DYNAの
0:28:21	会議には横にぶつかってるから近づいたけど、もともと
0:28:26	そちらのほうでお話しされてるのは正面衝突
0:28:29	その話を品はもう
0:28:31	テーマにしている、そうすると、かなり小さくなってしまいうんだけど、実際そう材質の違いだけであってモデル化違いだけであって、あくまでも方向性であればほぼ
0:28:42	東海になりますよとかですね、そういうことがわかればですね、より信頼性が高まると思うんですよ。そういうことで申し上げてるんですけども。
0:28:51	東北電力の田村です。
0:28:55	おっしゃられていることは理解しているつもりでございますが、
0:29:00	向性船舶で
0:29:05	LS-DYNAをやる、それから
0:29:09	そのときにさ、そのサイズがすごく小さいサイズを
0:29:13	イメージしてるんですけど、
0:29:16	そうするとまた軸剛性は実剛性でまたその構成船舶の小さい船を出してみるってことで、
0:29:28	なんですかね、やっぱりどうしても土木学会の方ほうもある程度想定だし、
0:29:36	小さい構成の船舶のLS-DYNAも
0:29:40	やはりその想定の部分があるので、
0:29:43	どちらかというそうではなくて、今 30 ページのように
0:29:49	軸剛性は
0:29:52	既往の文献で出されているものが、
0:29:55	あるんでそれから土木学会のほうでも出してみたら、大体同じような数字。
0:30:02	こういうのを使って、例えば、
0:30:08	解析等の結果があるっていうのはちょっと探していますけれども、実際に
0:30:15	船舶の衝突事故とか、文献とかでどれぐらいの荷重が出てたんだとかっていうの実績を使って、
0:30:25	この軸剛性でそれが再現できるかどうかっていうのをやったほうがある程度なってるんですかね。
0:30:35	その説明性はいいのかなと
0:30:39	解析等どっかの構成船舶の解析等軸剛性だとやっぱり両方とも想定になってしまうので、
0:30:46	はい、実験ないしは時事故の数字とか、そういうのを 1 個持ってきてそれは間違いない数字なので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:55	それをここで 30 ページで示しているようなチェック剛性から、どれぐらい近い数字になるのかっていうのを確認するほうが、何となく
0:31:07	説明性がよいのかなと思いますけれどもいかがですかね、形状のエザキですおっしゃられた部分よくインターネットなんかでも掲載されている国交省でやっている構成含めか休学に
0:31:20	衝突させたときの
0:31:22	実験っていうのは公表されてますので、そういったものを使って、すごいな。
0:31:29	それとも、PMは戻って使うのかもしれないですけど、そういったも実験を軸にして基軸にして妥当性を説明したほうがより信頼性が高まるっていうのは理解しました。
0:31:43	だから、基本的にはもともとその実験がないこともあるので、そうFEMA
0:31:50	それから含むまだ不確かさモーターショーははっきりしてない部分も全部好きしてくるといったことで提案されたというふうに理解しました。
0:32:04	電力の田村です。
0:32:06	と繰り返しになりますけど、ちょっと解析ないしはそういう実験事故等が出ている数字というものを少し調べさせていただいて、ここに書いてある 30 ページの実効性を使って、
0:32:23	どれぐらいの差があるのかとか、近い数字になるのかっていうのを確認させていただいて、次回以降説明させていただければと思います。
0:32:34	規制庁ねだけちょっと確認はしますけどLS-DYNAとその実験等、それとFEMAと三者を比較してっていうふうに
0:32:44	ではなくてあくまでもシームだけ聞いているのは、
0:32:51	東北電力の田村です。
0:32:56	フェーム 30 ページの軸剛性を使ってFEMAの支給
0:33:02	から出てくる、その荷重というのが
0:33:09	どれほど妥当な数字なのかというのがわからないので、それを検証するために何か相手が必要だと。
0:33:18	その時に
0:33:20	LS-DYNAの結果を持ってくとLS-DYNAもある程度想定のものが入ってきてしまうので、それを使うのではなくて、
0:33:32	実際に
0:33:36	大型船舶の衝突事故とかで確認されているような荷重を
0:33:43	相手にしてあげて、
0:33:45	この
0:33:45	30 ページの軸剛性でそれが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:49	表現できるのかということ調べるほうが
0:33:54	やり方としては正しいのかなと思うんですけども、
0:34:06	今おっしゃってる形だとダイレクトにはっきりわかるのは、土木学会とか、そういったものでは有効性の算出方法の妥当性にはなりませんよね。
0:34:17	LS-DYNAっていうものを実験がとして数値実験として対応させていくという方法に関してはまだそこははっきりしないですよ。
0:34:35	すみません。神谷町からペンノでございますけどちょっと御発言をさせていただいてよろしいでしょうか。
0:34:45	はい、辨野さんお願いします。
0:34:47	すいませんあのエザキさんからのコメントについては℃も田村投与ですね、理解しているつもりですけどもし間違いがありましたら御してください。エザキさん側の御懸念されているのは全部で二つの要素があって一つは、
0:35:04	今、あまり軸剛性を土木学会で出してFRP選出してもいいのかという問題とあと、それらの検証に対してLS-DYNAを使うことでLS-DYNAが本当に正しい、そういう実験のかわりになり得るシミュレーションになっているのかというこの未転嫁と理解しております。
0:35:23	その上で、田村が御説明させていただいた通り、時刻校正の妥当性については30ページにございます通り実際構成船舶については軸剛性が木原さんの論文等でですね算定もされておりますのでそれと照らし合わせてみて、
0:35:41	ほぼ終わりかあの今回土木学会用いて使った場合構成船舶の地区防災専用の上にあるか、或いは保守性になっているということで、1点目の点については御説明をさせていただいているという次第です。
0:35:56	一方で、イトーキさんが繰り返し指摘されているLS-DYNAそのものがちゃんと正しく評価されている件についてはおっしゃる通り構成船舶等の正しいと思われる軸剛性に基づいたLS-DYNAというものを実施していないというところでもありますので、去年の改定はその辺が本当に
0:36:16	大丈夫かという御懸念だというふうに理解しますので、そこはですね、繰り返し北村が申し上げているという実験自体で構成3泊とLS-DYNAを比較するようなことができるくらいあれば、駅舎のご健勝急にクリアになるかと思ってるんですけども、実際500t以上の構成船舶の
0:36:35	デットなかなかないのでちょっとその辺はですね切り離して、NSたいのも妥当性という面について、もし文献等であった場合にですねその文献等に基づいて作業できるかどうかというのはちょっと持ち帰って検討させてください。
0:36:52	一方でこれは指摘事項にもなっておりますけども、LS-DYNAの位置付けというのは今回明確にしないという御趣旨、御指摘をいただいている通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	我々としてはLS-DYNAっていうのはあくまで衝突解析のシミュレーションとかのいろいろそういったときにどれぐらいの
0:37:10	派それ幅があるのかというところでこれに基づいて荷重を算定してっていうのはこの痕跡作業重々御承知のことで大変恐縮なんでございますけども、そういった意味でサブ的な位置付けであってルーチン的にも、そういう衝突形態の違いというものだけに、
0:37:27	フォーカスを当てたようなちょっと使い方をしているので、その辺がちょっと踏まえた検討ということで理解をいただければ幸いです。いずれちょっと田村が申しあげましたようにもう少しLS-DYNAの妥当性に関する文献等或いはそれに基づいて何か解析ができるかどうかというのはちょっと持ち帰って検討させていただきたいと思います。以上でございます。
0:37:47	規制庁のエザキです。今の話だとプラス塗布するとしたら、正面から、
0:37:54	この横にぶつかった分だけの増分をまたCまでかけなきゃいけないような話に聞こえるんですね。
0:38:02	僕はそうではないんじゃないかなと思っていて、そういった理念とか毛布
0:38:09	それで払拭しておく必要があると思っていても、設計としてはもう 2000kNって MACCSではこれ以上大きいものがないと思っていて、それは多分、
0:38:20	審査官みんなが思ってるんだと思うんですね。で、
0:38:24	やはりどういう形であれですね、それは持ち帰って検討していただければいいんですが、今田村さんが言われた国交省とか、今日の
0:38:34	実験からですね、LS-DYNA
0:38:38	等のシミュレーションができないのであればまた別の話で、切り口で検討していただきたいのと、あんまり本当は言いたくはなかったんですけど、19 ページの右上の
0:38:51	材料特性がありますよね。
0:38:54	それよりも、実際にはこれが、
0:38:58	ある程度バリア的な評価ですね。
0:39:01	それを基本的に途中で止めちゃってるんでヨウ素が途中では晴れていってしまふような状態になっているので、多分雰囲気 13 ページで言っているような輝石はもう取り下げちゃってはいますけども、別の観点で、
0:39:16	あれをモデル化することによって輝石変わっちゃいますよね当然ね。だからもともとでき席でも物は言えないし、その辺から考えていくと、より
0:39:28	今やっていることで十分なんだっていう説明をするためには、LS-DYNAの
0:39:36	考え方。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:37	赤じゃないぞと結果の妥当性っていうのはある程度人がないと、実際に予測が飛んでいくことが全体あり得ないでしょう。
0:39:46	で、多分いろんな箇所の方は思うと思うんですよ、多分これ、
0:39:50	こういうような解析がわからないと。
0:39:53	これでいいんだっていうのが目に見えてこないような気がするんですよ、そういったところで、多分今のことを
0:40:01	より信頼性っていうか肉付けするっていう基本的にですね、肉付けする必要はあるとは思うんですよ。
0:40:08	その辺でもうちょっと何かできるかというのをよくもうちょっと考えていただいて、簡単じゃないかもしれないですけど、まだ
0:40:17	介護がまだ残ってますんで。
0:40:20	その中である程度、
0:40:22	イトウという検討を示していただく必要はあるとは思っています。以上です。
0:40:32	はい、東北電力の辨野でございます。詳しく5イトウご説明いただきまして誠にありがとうございます。逆に圧を私どもちょっと理解が不足していく申し訳ございません。ちょっと次回の会合のみならずちょっと振っこれからですねそういった論証としてどこら辺までできるかということも含めて、
0:40:50	持ち帰って検討させていただきます。田村さんもし改めて今エザキさんからいただいたコメントに関して確認すべき確認したいという事項があったら、これをお願いします。
0:41:09	東北電力の田村です。
0:41:16	繰り返しになってしまうんですけど、
0:41:20	ですからここ今回鉄塔我々事業者がやったLS-DYNAの結果、
0:41:27	結果というか、
0:41:30	設定も含めてですけどLS-DYNAがその妥当なんだということの説明。
0:41:36	が必要だと
0:41:41	例えば、
0:41:46	は文献等で構成船舶のその衝突というか、衝撃みたいなものをLS-DYNAでやったものがあって、
0:42:01	それが30ページのものと比較できるようなものがあれば、それはそれでよいということなんですけど、LS-DYNAそのものの
0:42:12	また妥当性とか適用性
0:42:15	を示すというのか。
0:42:22	ちょっとその辺がちょっと私まだ理解がついてきてなかったんで、
0:42:37	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:38	基本的に言えば、こう衝突荷重というものが、
0:42:42	ANSIので十分再現可能だよっていうことが簡単に言うと、説明できればいいですね。だから、うん。
0:42:51	僕電力の田村です。理解いたしました。ちょっと持ち帰り検討させていただきたいと思います。以上です。
0:43:53	規制庁不調で私のほうがちょっといくつか
0:43:58	確認といえますかまず1ページを開いていただきます。
0:44:05	これは何か指摘事項については今年度、
0:44:09	面談の介護のその面談の
0:44:15	このように書いていたので、そこでさっきも言ったんですけどこの
0:44:20	回答の概要の一番下の位置付け衝突解析に続けてなんですけども、これはこういうものを面談の公開の資料によれば、基本的に何ですか衝突荷重の算定の妥当性と設計の適用性について、
0:44:37	以下の項目を踏まえて整理することで、衝突解析については当然そういった妥当性と設計の適用性に組み込まれてますので、今これは回答の概要全部並列でぼんと書いてるんですけども、実際はこれらの妥当性と設計は適用性に来ぶら下がっ
0:44:54	という形で守ってさっきのエザキいたような話に結びついてくると思うんですけどよ。だからここで今ばらけさせているからこそなんかちょっとややこしくなってるんでもうちょっとそこら辺は
0:45:06	この会合のやつを踏まえてちょっと
0:45:08	訂正を充てていくか、恒設組みかえていただきたいと思ってますが、そこはよろしいですかね。
0:45:16	6の田村です。指摘事項の修正と合わせて1ページについては対応させていただきます。以上です。
0:45:25	通常です。続きまして同6ページをちょっと開いてもらえますかね、登録ページで、
0:45:35	5ポツの一番上の矢羽根の1行目の右端のほうで船首方向の軸剛性としませうというふうに書かれてこれ先々のことを若干言及があったんですけど衝突解析LS-DYNAのやつだと。
0:45:53	先週側へと移行ですけど、客先横からだったら1100MWんだったら横からあったほうが所つけたいは大きかったんですね、じゃあ、横方向の実効性で出しますかなあと思ったら、どうもそういうわけじゃなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:09	ここで選手にやっぱこの言及されていわゆるロジックがちょっといまいよく衝突形態の影響の確認で 1.7 におかけした見えなかったんですね、その辺徹底、これってどうなんですよ。今津選手だとLS-DYNA炉
0:46:27	逆で横方向が 1100 で普通曲げた 1100 の剛性出しますっていたんですけど、地方使ってますので、そういうロジックがちょっとわからないんですね、そこで何かこう何かお考えがあるかをアイザワ。
0:46:41	結局衝突桁の影響額 2. 何だったのってところがちょっと今わからないんでそこをちょっと単純に 600 と 1.1 のケースバイかけるとか、そんな話は甘いような気もするしますし、そこら辺がちょっと今不明確なんですけど、今、
0:46:56	いや、ロジックをどう組み立てるかと思うんですが、いかがですかね。
0:47:05	東北電力の田村です。
0:47:08	こうした
0:47:12	検討というか考察が足りないのもあるのかもしれない。
0:47:18	思ってちょっと
0:47:20	対応は考えさせていただきますけれども、
0:47:25	横方向からたつたバー位についてその荷重が大きくなるというのは確認をしているんですけども、
0:47:38	その後、防潮ていうそれから貯留堰とかも含めた形で傍聴停電とその 1 本の杭が首尾する範囲が 4 メーターですので 4 メーター。
0:47:50	全面で受ける荷重として今ここで書いてあるんで、一方で先週ないしは線Bから立っている衝突形態につきましては、
0:48:02	1100 よりはちっちゃいんですけども、
0:48:07	船の幅が
0:48:09	3 メーター以下のものなので、実際は
0:48:15	なんて言うんですかね。
0:48:20	集中荷重とかで、その集中荷重とその分布荷重で考えた場合に、それほど大きな違いはあんまりないのかなと思ったりはして、
0:48:31	ちょっとそういうところの記載が時ないなというのがありますので、少し考えさせ、
0:48:39	対応考えさせていただければと思いますので、
0:48:43	ただ、それはそれとして、先週それから横から眺めとかっていうので出てきた数字、いずれも、
0:48:55	土木学会のほうで、軸剛性を出してFEMA式にあつて、出てきた荷重よりも下だよということで、
0:49:05	いろんな方向から解析で当てた場合を考えても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:12	FEMAスキーで出てきた荷重のほうが大きいですよっていうそうそういう整理なんですけれども、
0:49:23	はい、規制庁浮上です。そうですね。結局その態勢に位置付けて結局何だったんですか問題よろしいですかんないのではいとそこら辺が、
0:49:33	うん。結局そうですねフィン与える持ちっちゃいからいいだろうっていうところあそこで授受わかって、単純にだから、今の私の理解だと要は斜めとか横から当たった時にいやこれだけカジノばらつきが
0:49:49	あるんですけど、今実際そういったその分布荷重でかけられる支持荷重でかかるかとかそういった保守性踏まえて、ちゃんとやってるんですけどっていうのは、今の御説明だと思いましたので、そういうのが、
0:50:00	今はないなっていう、今、別に何か今この場で申し上げているつもりなんですけど。はい。
0:50:08	よろしいですかね。とりあえず、
0:50:10	東北電力の田村です。
0:50:13	すみませんもう少し丁寧に
0:50:16	書かさせていただきます。今ほど私のほうから申し上げた点も踏まえてもう少し丁寧に
0:50:23	記載をさせていただければと思います。
0:50:27	規制庁フジワラですが、ここの同じ6ページの1フローの一番下の機関部による影響の確認ちゅうのは今回の資料ではあんまりなくてですねとこういつて何か前回の会合の資料ですね、ついてたんですけど、これ何か。
0:50:43	そう。
0:50:44	その東北電力の田村です。
0:50:47	波食つく作ったら、
0:50:52	そうですね。資料でいきますとさ39ページ。
0:50:57	30で、
0:50:59	少し
0:51:04	資料を修正していく中で少しやはり
0:51:11	キカン部の影響というのが異質なものをだったりもするので、
0:51:17	ただ、専務BからのShort IIに関する内容だということで、
0:51:27	ちょっと39ページのほうに今回はつけさせていただいております。はい。
0:51:33	はい、規制庁輻射じゃ6ページには三坑なんかいろいろ中3校を外すと何かリンクを貼ってる会社が幾つかあったかと思うんですけどこの中3校とかつけたほうが、
0:51:48	そういう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:55	東北電力の田村です。
0:51:59	6 ページ 5 ページのほうでちょっと
0:52:02	どこの省にあるのかというのをもう少し丁寧に書かさせていただきます。以上です。
0:52:10	規制庁除草等はちょっと私の方から
0:52:14	11 ページをちょっとお開きください。11 ページがですね、ちょっと
0:52:21	ここで衝突物を／船舶の財政力学特性とあと、損傷モードの類似性という形でこの前のページまではいろんな構造が大体近いものであるとか、
0:52:37	いうのがあってここで材質とかあと損傷モードが 1 ページGのみで加振示されてない形になっておりますので、
0:52:44	ちょっと記載がちょっと何かちょっともうちょっとなかったという追加したほうがいい場合は、損傷モードの何かいきなりこう飛んでいるような形になって何か。
0:52:56	これは何かすごい飛び過ぎた感がありますので、
0:52:59	もうちょっと例えばFRPというのがどういう材質で材料であってどういうふうな構造する方の図とか或いはいろんな企画部文献とか用いて示したと、じゃあそういうのが今どういうふうなことだから、座屈が代表できる例えば
0:53:17	船舶で実際中空断面とか、これ薄板っていうのがあるんですけど、当然中空かつ薄板だから、一応その損傷モードというのが、いろいろある中でこういうのは座屈っていうのがありますよと。
0:53:33	最初のもしくは弱しかないかもしれんですけど本当にそうなのかいまいちEミナカワ管内ですよ。そんな急に何か座屈だけは選ばれて、尼崎しかないんでしょうけど、ではそうは言っても何かいろんな企画文教ともちょっと見て考察を加えたほうがいいんじゃないかと思いますね。
0:53:50	例えば何かFRP構造設計便覧強化プラスチック協会とあと複合材料工学に限るとか、或いはFRPを用いた橋梁の設計に関する何か
0:54:07	うん共同研究報告書みたいなそんな見ると、FRPの中硬そのものなんか座屈
0:54:15	っていうのは何かこうやってたり、今記述もあるんですね、それが船舶の座屈皆様は多分中空の座屈ってわけじゃなくてそれを単純に 1 枚の板の座屈っていう形で示されてます。ただ、ここでその材料の力学特性っていうその同等性
0:54:32	本人と例えばコーサーとの同等性とかという観点である程度何か比較として最も用いれるんかもしれないなと思ってるんですね、要は材料の冷却特性で基礎からわかるFRPだけで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:48	確認或いは損傷ものをこの基礎からわかるFRPAだけで示したらちょっと足りない東大のもうちょっとそこら辺補強様々な企画文献を集めて、ここに書いてある記述を踏まえて、要は、もっとミクロ的な
0:55:04	材料の特性、そこから保ちマクロ的なまちづくりとか、薄い板とかですかね、そういったもののロジックをきちんと整理しないとちょっと何かもう1枚だけど、何かちょっと説明が
0:55:16	また、寂しいされていないというふうな印象を受けてますが、
0:55:21	いかがでしょうか。
0:55:26	東北電力の田村です。
0:55:29	ちょっともう少し分広めに文献を確認をさせて、
0:55:34	資料の充実を図りたいと思います。はい。以上です。
0:55:40	規制庁フジワラです。わかりました。あとちょっと私の方からちょっともう細かな記載というか、記載の中身なんですけど、24ページとか、今24ページ。
0:55:56	いいですけど、23ページまでですと言わ結局
0:56:00	23と20で離席気が
0:56:03	結局あんまり使えませんでしたとか或いは建築物荷重指針で坂とか言ってるけど、結局3確保を使いませんでしたという何か補足的な内容に結構なってるような気がして、要は
0:56:17	なんか結構いろいろやってるけど結局使えませんでしたっていうことしか来書いてないんですね。それと何かここに、いや、介護施設の総本部に全部下が制度も参考として野望のそういった検証した結果、
0:56:33	こうなりましたというふうに書くのか、そこでもうちょっと整理しないというような何を言いたいかわからない。
0:56:39	会合資料としてですよ。
0:56:41	いつもたらその補足説明資料をまずきちっと固めた上で会合資料に持っていくんじゃないですか。その過程で何か多分本当にいい本音の部分の部分をまずつくってそこを介護するように持ってくるんですけど、今の補足説明資料を使わずにも会合資料作って、
0:56:57	前回のコメント回答とりあえず何か反映させた。
0:57:01	だから何が本音なのかわからないので、ちゃんと骨組みを意識施設の会合をしろとかつくられた方がいいんじゃないでしょうかというふうになんか私からのこれはちょっと申し上げたいことですから、以下ですかね。
0:57:17	東北電力の田村です。23ページ24ページは
0:57:22	少し
0:57:24	細かいところまで書きすぎてるような気がしますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:28	参考に落とせるものを参考に落として羽の部分だけ残すような形で
0:57:36	資料まとめたいと思います。以上です。
0:57:40	規制庁フジワラです。落とすほんま落とそうと3をあれとして沼津補足説明資料をきちっとまとめたほうがいいんじゃないかと私は思います。はいで、その上でちゃんとこれをしっかりさせてその辺の相互の検討。
0:57:57	また、会合は■■■■ですかね。うんだと思うんではい。
0:58:03	その点はまたちょっといろいろと補足を固めてからの方がマンスますものです。それによっても一つ手かと思しますので、ご検討ください。
0:58:12	私の
0:58:14	以上です。
0:58:20	規制庁の土岐です。県だけ確認なんですけど、13ページ。
0:58:27	この表の中でも、三番目以降に出ているアンドレアップ。
0:58:34	それ警報、
0:58:36	て、
0:58:37	どういうふうなのかっていうのは何か口頭で説明できますが多分、
0:58:42	ふうんとFRPをつくる過程の話をしているのか、それとも不明FRPというものは、
0:58:53	からそう船を成形する方法を行っているのか。
0:58:57	これはどのようなイメージなのかっていう判断は構成警報によって曲げ剛性っていうことを模擬剛性がこれで決まるというふうに封書そそれ以外の
0:59:10	物性値を決めるってというような立て付けになってるんだけど、そうすると温度FRPそのものを
0:59:17	を作る過程が、
0:59:19	そう船等、一般産業物。
0:59:23	とか、
0:59:25	違うものがあるっていうのは、解釈及び読めるんですけど、この辺はどう解釈したらいいのか教えていただきたいと。
0:59:34	東北電力の田村です。ハンドルアップ系設計法というのが
0:59:42	船の局面、
0:59:45	固くみたいなのがあって、
0:59:50	もともとともとっていうかそのあって、それに対してそのスプレイ的な形で
0:59:56	FRPの材料というか、
1:00:01	ジュシ材みたいなものを吹きつけていくような形で
1:00:08	船の構造がすごく曲線なので、
1:00:13	機械

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:15	その工場製作みたいなもので作ってくっつけていくということが非常に移行できないような形なので、こういったハンドやっぱ性警報だと
1:00:28	設計法幾つかあって、通常、
1:00:31	船の、
1:00:33	船舶で用いるそのFRPはこういった設計法を用いてますというのが書かれていて、その平成設計法によって、
1:00:44	前弾性率とかは、いろいろ変わってくるというのが、あの表でも書かれていたりするのでちょっとその辺については少し補足をさせていただければと思います。はい。
1:00:55	船長です繁忙例アップ設計方法っていうのは理解できたんですけど。
1:01:03	系統図とかそういったものが変わらない。
1:01:07	であれば、曲げ弾性率が形状によって変わるという中で、ちょっと理解しにくいかなとちょっとわかりにくいかなと思っていて、
1:01:16	その辺がある程度
1:01:19	わかりもうちょっとわかりやすくなればいいかなっていう気はしています。
1:01:27	東北電力の田村です。少しその辺、
1:01:31	追加できる資料を探して対応させていただければと思います。以上です。
1:01:47	規制庁の三浦です。ちょっと私が確認したいのはやっぱり 23 ページ 24 ページの流れ、
1:01:55	なんですけど、
1:01:58	23 ページの上から 4 番目の矢羽でやっぱり軌跡で決まる領域じゃないんです。
1:02:05	ということ言ったわけですね。そうするとこれは瞬間最大荷重で見るべきものとなって、
1:02:12	いう見方をすればいいですかということが一つと。
1:02:16	あと次建築学会の荷重指針持ってきてますので、
1:02:21	これは私もちょっと今日確認してみたんですけど。
1:02:25	LS-DYNA実験結果がない場合には、LS-DYNA或いはヘルツぐらいの試験結果ですかと思うんですがその
1:02:34	荷重等を時間軸部の曲線を 10 日の三角形に置き換えてそれを最大荷重として設計荷重として見なさいっていう規定なのですが、
1:02:47	うん。
1:02:48	ここで先ほどの
1:02:51	最大荷重で見るべきものだよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:54	で、一つの見方として、解析結果を、そういう酸化反応に置き換えて最大荷重 っていうのを評価する。
1:03:03	そういう方法も学会誌基準は持ってますと、
1:03:07	それで求めたものを
1:03:10	でも、
1:03:11	結局はそういうことをちょっとフジワラ先ほど言いました、そういうものは一切考 えずに最大値をとってきました。
1:03:20	それは今想定してるものよりも小さいですよっていう流れで見ればいいです か、この資料ちょっとその流れをちょっと整理していただけますか。
1:03:31	東北電力の田村です。
1:03:34	おっしゃる通りの流れでございまして、23 ページではまず軌跡
1:03:41	で、評価ができないということなので、時刻歴で見るようなものなんだろうという ことでございますんで、24 ページでは
1:03:55	荷重指針に
1:03:58	まずその見たときに、
1:04:01	解析を使った場合にはその 3 各派だと。ただ科受診もいろいろ見ると、
1:04:11	軌跡でその三角形を考えるときに作用時間のとり方で、全然ピークの
1:04:19	その高さが変わってきしまうと、
1:04:22	高さをする瞬間最大に合わせると、この図と作用時間が逆に決まってくるって いうので。
1:04:32	参画はあのとり方をどうしたらいいのかっていうのはその荷重指針の方には 全く書いてない状況で、そうするとやっぱりその最大荷重時刻歴で出てきた最 大荷重を見るべきなんだろうということ、最終的に最大荷重時刻歴の最大荷 重をとりますという流れなので、
1:04:50	ちょっとその辺をもう少し
1:04:54	わき道にそれているところもあるので、もう少しすっきり書かさせていただけれ ばと思います。はい。以上です。
1:05:04	規制庁の三浦です。
1:05:06	まさにそこで参加って面積経験ないするかということで、
1:05:12	全然違っちゃって、
1:05:15	これで見えていったときに斜め方向で当たったものっていうのは当然 1 から鉄が しばらくしてからもう 1 個当たるっていう曲線なんでこの作業時間取ったもの を三角形に追っかけても何も費もないというか、
1:05:28	ものだと思うんですね。あくまでもむしろ
1:05:34	これで見えていくと横辺りが一番

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:37	こうあってて、
1:05:39	作業時間が非常に短くて、ほんでピーク等、あと三角形どっかたときの与え方近いという
1:05:45	この辺のところになんか一番、今のこの学科資金見渡せると合ってるのかなって感じをちょっとして見てたんですね、今の全体の中でもちょっと先ほどちょっと扶助の話もありましたけどこの辺の中でについては、
1:06:02	いろんなものがポコポコ知らされてきて、全体として一体何を言いたいのかっていうのがよくわかんなくて、最後見てみるとこれらいろいろ広報あるけども、最大のみましたよっていうことしか見えないうか、
1:06:15	いろいろちょっと書かれてる割にはステップ 5 ちょっとここで説明をしておいたほうが良いような気がします。よろしいですか。
1:06:26	東北電力の田村です。23 ページ 24 ページはもう少し
1:06:30	止めたいと思います。以上です。
1:06:39	はい、じゃあ規制庁直上でその他の再委託で参加されている。
1:06:46	アマノさん、何かもしあれば、
1:06:51	規制庁の天野です。私からは特にありません。
1:06:55	はい、わかりましたありがとうございます。
1:06:57	付したじゃ漂流物関係は、こちらの方から以上でして中ノ北電さんの方確認したいことがありますか。
1:07:09	東北電力の田村です。特にございません。はい。
1:07:22	規制庁扶助そしたらじゃないと漂流物の申請利子力については以上とさせていただきます。アマノさんありがとうございました。
1:07:36	次は防潮ていうの積み残し、
1:07:46	陶芸 3 もし防潮堤内次の説明の準備ができれば教えていただけますか。
1:07:57	東北電力の予定です。それである防潮ての残りのコメントについて御回答を御説明させていただきたいと思います。
1:08:07	当資料につきましては、5 月 19 日に御説明させていただきましたヒアリング資料の
1:08:14	一番の回答整理表後、2 番の補足説明資料に沿って御説明させていただきたいと思っております。
1:08:22	はい。一番の回答整理表をお願いいたします。
1:08:29	こちらの回答につきましては、今回 20 行程度のとかがイトウございますが、一つ一つの回答内容とかコメント内容と回答の趣旨
1:08:40	御説明下後に隠しを日程マーカ一仕様の概要
1:08:45	について一通りまず御説明させていただきたいと考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:51	1 ページ目、お願いいたします。
1:08:53	1 ページ目の上から 4 行目、ナンバーもう職員の網の
1:08:58	ナンバー76 万の汚職事項になります。
1:09:03	こちらについて傍聴でこちら期において、
1:09:06	詳細設計段階で提示をdと説明していた項目、
1:09:11	具体的な検討結果を耐震計算書等に記載するという。
1:09:15	もうじっくり事項ございましてこちらについて回答としては、
1:09:19	詳細の検討結果を耐震計算書及び強度計算書に記載いたしましたということで、資料については、この補足説明資料全体で。
1:09:28	別途回答しているといったものになります。
1:09:32	こちらにつきましては以上です。続きまして、1 ページ目のNo.一番にあります。
1:09:39	一番のコメントとしては、防潮で下部の地盤について、改良地盤とセメント改良などの構造物の境界から津波が流入しない根拠を説明することになります。
1:09:50	こちらの回答としましては、当ジョイント要素、各部材間に設定しているジョイント要素間の剥離状況を確認しまして、
1:09:58	貫通するような
1:10:00	時刻がなくて、津波が浸水流入するような水みちがないことを確認。
1:10:07	してございますが、こちらについて補足説明資料、
1:10:11	2 番の補足説明資料の 6.1. 9 に基づいて御説明いたします。
1:10:29	はい。
1:10:30	はい、6.9 すみません、補足 2 番の資料の一番最後のほうにございます。
1:10:41	6.1. 9 がもう調停の設計施工に関する補足説明資料ということで、その中で、4 章に止水性に関わる検討結果というものを載せてございますが、こちらに今回追加の
1:10:54	はっきり状況の確認を追加いたしておりますと 6.2. 9-1 ページをお願いいたします。
1:11:02	こちらの 4 章の 4.1 に構造境界部なく理事会の確認結果ということで剥離の確認結果載せてございます。
1:11:10	方法としましては 4.1. 1(1)載せてますが、この 4.1-1 図に示しておりますが、設置許可のときと同じような形で、
1:11:21	住民投票その暴力鉛直能力を見て剥離と判定をしてございます。
1:11:26	検討断面につきましては 6.1. 92 ページに示す通り、
1:11:31	防潮で鋼管式鉛直液のうち、断面 1235 としてございます。
1:11:37	また駄目 4 と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:39	予定分については未知なる幅が広いので、今回は検討対象外としてごさいます。
1:11:47	それぞれの全停 3 配置図
1:11:50	につきましては、2 ページから
1:11:53	5 ページにお示ししてごさいます。このジョイント要素の配置図のうち水色で、
1:11:58	いろいろな部分をえと剥離の確認を行ってごさいます。
1:12:04	検討事象につきましては地震津波重畳それぞれ見てごさいます。
1:12:10	検討結果につきましては、6.1. 97 ページ、表 4.1-2 にお示ししてありまして、
1:12:17	各断面各事象についてと剥離
1:12:20	最大の剥離距離の時刻については時刻とアブリ脅威だと、剥離が貫通しているかどうかということをもとめた表を示してごさいます。あと 4.1-8。
1:12:33	図に時刻における変形図をつけてありまして、
1:12:38	あと剥離が貫通する時刻がないということを確認しておりますというのを示してごさいます。
1:12:46	あと、
1:12:47	こちらの回答につきましては以上になります。
1:12:53	規制庁のエザキなんですが、
1:12:56	6-1-9-7 ページの表の 1-2。
1:13:01	このいわゆる時刻と剥離距離があるんだけど、結論としては貫通してませんよって言うんだけど、そう剥離
1:13:09	する距離が多分硬ジョイント要素をつけている
1:13:17	長さですよ。そう。
1:13:19	ある意味今日限界違うイベント強震近いイメージなんだけど、実際の数を
1:13:25	ふん。
1:13:26	全庁としてはどのぐらいの距離があって、そのうちどのぐらいの距離が剥離して、
1:13:33	いるのか、それから見ると多分全体的に言えば、
1:13:38	和久里の貫通はないと。
1:13:41	いう話だと思うんですよ。
1:13:45	ただ、それがそう隔離距離しか書いていないんで。
1:13:49	なしなしだっという結果結果がどういうふうに確認できるのかということなんですけど。
1:13:56	いわゆる
1:13:58	うん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:59	隔離距離に対して、その剥離UO監督貫通距離っていうものが多分あるんだと思うんですよね。
1:14:05	全体の長さとして、
1:14:07	それが書けないと判断がつけられないんじゃないですかねっていうことでいいたいんですけど。
1:14:14	はい、東北電力のイワダテです。当庫質問の御趣旨と理解いたしました。
1:14:19	ちょっと口頭で大変申し訳ないですが、状況を御説明させていただきますと、
1:14:25	当隔離の貫通距離につきましては、距離センチメートルとかメートルでちょっと今分析はしてないのですが、内容層の剥離たい。
1:14:37	確認対象の要素がないよう図あって、その内ない要素がはっきりしてるかってのはちょっと押さえておまして、
1:14:45	それが一番多いのが断面②の重畳時、
1:14:50	精製DⅡのプラマイになります、このアプリ距離 1.285 といったものに
1:14:55	等に対応してるんですけど。
1:14:59	ここで確認シェル要素が 138 個あって、そのうち約半分の 67 個の要素がはっきりしている状況ですと、
1:15:09	いうところで一番
1:15:10	アプリ設定も大体半分程度、その前兆の半分程度がはっきりしていて、半分程度は密着しているっていう状況に
1:15:18	なっています。
1:15:22	それはそれはちょっと今表でお示しできていないので、
1:15:26	どれぐらい距離とか他所数でもはっきりしているかということを表せるように表に追加させていただきたいと思っております規制庁エザキれるんですが、/分不具合のページのね、6-1-9-6
1:15:42	もう検討結果の最後の
1:15:45	先天数。
1:15:46	水みちが水みちが形成されないことを確認したとしているんで、それがわかるようにしていただければ、全体的には多分わずかなとこしか、
1:15:58	頭なりしないので、基本的には、
1:16:01	ほとんどが密着してますよと、それを、程度感が多分分かればいいなと思います。多分図ではある程度示してはいるんだけどせっかく表なんでそうな%F
1:16:14	うーん。
1:16:16	塞いでいて、閉塞していて、閉塞してるから水みちがないって言うてるんだと思うんですけど、そう、ほとんどのパーセンテージのところは何十%。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:25	もっと 100%近い数字になると思うんですけどそれがわかるとわかったほうが売り買いが含まれると思います。わかりやすい表現をしていただければと思います。
1:16:37	はい、東北電力様の訂正と承知いたしました。
1:16:41	隔離のそうですね等貫通状況が起こるような数値について示させていただき ます。
1:16:49	以上です。
1:16:52	規制庁私もちよっとここを気になって来最大剥離距離ってどこの距離だろうっ ていうのがよくわかんなくてもしかして 6-1-9-9 ページを見たときのこの上 の図の 4-1-8 の両括弧 3 の拡大図ですか、64 番でここで、
1:17:10	何か白いので何かこう浮き上がってる状態でこれの鉛直方向のもしかして距 離がここに示されているということですね、これはB. 6478 の
1:17:21	東北電力イワダテ瀬戸フジワラさんから指摘ありました通りの 1 のところの 剥離距離をまず示しておりまして、早速方法としましても
1:17:33	お話ありましたようにジョイント要素の設定点の鉛直変位の差分を表しており ます。
1:17:41	以上です。
1:17:46	規制庁じゃ実はわかりましたけどもまあ私はエザキのコメントの通りで、水みち という観点がよろしいかと思えます。以上です。
1:17:59	規制庁の三浦です。
1:18:02	ちよっと確認させてください。これ例えば 6-1-9-9 ページ見ると、
1:18:07	最大剥離で 1.647cmとか出てますよね。
1:18:11	これ見ると、何か要素で 123C5 六甲の要素に渡ってますね。
1:18:18	そうすると孤独要素で、
1:18:21	1.647cmの 1 要素が 0.2cmになっちゃいますよこれ。
1:18:30	ていいます。当東北電力宛セット右これ図でいきますと一番右端の要素の
1:18:38	ところの鉛直の方向、鉛直方向の開きを示しています。正方向の開きというよ うなご趣旨今おっしゃったかと思えますがちよっと表現が悪くて大変申し訳ござ いませぬ鉛直方向の開き、
1:18:51	はい。
1:18:56	隔離距離って言ってんのは、鉛直方向の開きはあはあ。
1:19:02	特に、
1:19:05	受けて政党はつきり距離と言ってますのは、鉛直方向の開きになっております んで、先ほどエザキさんからも指摘あります通り水平方向にどれぐらいこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:17	この距離で離れていってどれくらい密着するのかっていうのがわからないというように御指摘いただきましたので、そちらについて改めて数値でしっかりお示しするように次回回答させていただきたいと思います。すみませんわかりました表 4-1-2 を剥離kLの鉛直方向の開き
1:19:35	できる鉛直方向のヒラキだけで水みちができるかできないかっていうのがちょっとあれですね。
1:19:40	すみません、お願いします。
1:19:45	井原ですがどう同じところなんですけどねこれ頭脳ちよつと見方っていうか、ちよつと教えて欲しいだけ確認したいんですけど。
1:19:52	例えば 6-1-9-9 のところの上の 4-1-8 の(3)。
1:19:58	右側の通り
1:20:03	変形図拡大 64 倍って書いてあるほぼ黄色で枠組みした抜き出したし、絵がありますよね。
1:20:12	そのときに多分このおっしゃってる白いところがもう剥離している。
1:20:19	ということを表現してるんですね。
1:20:23	ことですね。はい、東北電力ですとおっしゃる通りになりますのでこれは稼働を貫通してるのか、来てないのかってどうなんでしょうか。
1:20:34	単純にそこをちよつと私確認したんですけども。
1:20:38	電力の予定ですけど、こちらのオレンジで囲ったところの右側は置換コンクリートの底面の部分になりまして、こちらについては目視で見ていただいてわかるように底面が大体はっきりしているような状況になっています。
1:20:55	ですけど、左側にはと改良地盤、
1:20:59	の底面がございましてそちらは密着している状況になってまして、あの防潮で全体としては剥離が貫通していないというような判断をしております。
1:21:09	指定とそちらについての詳細な考察というか処分相当とかでわかりやすく書いていなかったのも、そういったところも記載させていただきたいと思います。
1:21:22	これ例えば現象で細かくちよつと考えていくと、例えばここの部分が剥離をしてですね、そこに水が入ってきたと。
1:21:34	しても、おっしゃる意味は隣の界面のところには剥離が主題から
1:21:42	水は行かないよってそういう意味ですね、おっしゃってます。
1:21:46	はい、東北電カIWダテ政党その通りでございます。
1:21:50	これが同時に白い状態でないと。
1:21:54	貫通してないよと。
1:21:57	そういうことですかカダテ政党おっしゃる通り、その通りでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:05	例えば左側の剥離距離が多く、非常に右側のね隔離距離とおっしゃってる開きが大きくて、
1:22:15	それで、その次隣が開いたときに水が行くなんていうそんな細かい話はないのかな。
1:22:23	電力共通で生徒厳密にとそういったほとんどないとは思っていても、仮にあったとしても浸透流解析とかで所のページで締めを示してるんですけど、水としては、その間実感のような水のその進入が
1:22:39	敷地にこう上がってくるほどのものではないかなというふうには思っております。
1:22:46	わかりました。見方はそれで理解しましたので、さっき
1:22:52	エザキが言った質問のこともフォローしていただいて、それからまた見させていただきます。
1:22:59	奥に行く予定ですはい。承知いたしました。こちらの結果の見方ですとかも解釈の仕方をもう少し記載充実させていただきたいと思います。
1:23:13	規制庁のエザキです。多分この辺の話って許可でもうどうやるのかということで、ある程度見通しとかも判断しかやってた記憶があります。
1:23:24	そのときの議論としては基本的には日開くんだけでも、
1:23:30	次のもとね自身は正副反復するのでまた不測開くという形で
1:23:38	それを見たとして、一応開いたところを見たとしても、局部的出ようと何で全体どう三菱の形成をできていないと。
1:23:47	そういった説明を受けてそれとわかりやすいんですけど、私としては、そういったことがわかるような説明をしていただいたほうがさばくかどうかっていう発生層大幅
1:24:00	そう。非常にミクロの幅ですよ。しかも数値シミュレーションの中で幅をするよりは、もうちょっと層を
1:24:08	アンテナロジックをどういうロジックでわかりやすさを含めて説明できるのかっていうのはちょっと考えていただいたほうがいいかなと以前橋本さんにとかでそういうふう聞いた記憶があるんですけど、やっぱりそっちの方が私は、
1:24:25	理解しやすいなと思いました。
1:24:28	はい、東北電力の橋本です。諸説変更許可のときに
1:24:35	検討の仕方として同じ検討の仕方してるんですけどもちょっと記載が少し途中を省略してしまっているところがありましたので自国としては、
1:24:48	その剥離の幅が最大になるときが全体としても泊でいいの割合が一番大きいかどうかということで遅刻をピックアップした上で設置変更許可のときにはちよ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	つとそこまでどのくらいの割合がくっついてるかっていう話までちょっと覚えてたんですけども今回、それをお示しできていなかった。
1:25:06	なので、その辺の筋道がちょっと繰り返しになりますけどわかるようにということとどのくらいの割合が剥離しているんだということをあわせて御説明したいと思います。以上です。
1:25:29	東北電力のイワダテですと、それでは次のコメント回答をさせていただきますと資料一番回答整理表のNo.2 番になります。
1:25:42	こちらは傍聴. 津波荷重が作用した場合の隣接する構造物への影響について整理して記載すること。
1:25:49	になります。
1:25:50	こちらについての回答としては、
1:25:53	あと地震時と津波時について傍聴で敷地側のほうの旧表土に発生するひずみ、せん断ひずみを比較しまして、
1:26:00	当比較することで津浪荷重がもう調停の敷地外の構造物に及ぼす影響が小さいということを確認してございますして、
1:26:09	土地については、資料②-6.1. 2 の参考資料 6 に基づいて御説明させていただきます。
1:26:19	6.1. 2 の参考資料 6 お願いいたしますと 6.1. 2 の一番最後になります 6.1. 3 のすぐ手前になります。
1:26:34	6.1.
1:26:46	6.1. 2 の参考資料 6 として津波荷重が作用した場合の防潮で敷地側の隣接構造物の影響についてということで、
1:26:54	今回新たに資料を追加してございます。
1:26:58	趣旨と概要としては、と防潮で敷地側に隣接する構造物への影響を地震時と津波時に発生するせん断以前見を用いて検討します。
1:27:09	当検討断面としましては、系統も調停敷地外に漏れると旧表土が厚く分布して、そういった状況が見やすい断面②を用いてございます。
1:27:20	こちらの比較結果につきまして、6 点失礼しました参考 6-2 ページの
1:27:28	図 2.2 と図 2-3。
1:27:31	B系と示してございます。
1:27:34	この結果等によりまして津浪Gのほうのせん断ひずみ分布を見ますと、
1:27:42	発生する歪についてはあまり大きくなって、地震時その下、図 2-3 の地震時読みますとは比較的防潮で敷地側に歪が発生している状況になってございます。こういったことから、津波、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:57	荷重が敷地側に及ぼす影響というのは小さいということを考察としてさせていただきます。
1:28:06	こちらについては以上になります。
1:28:10	と。
1:28:11	続きまして、
1:28:13	資料一番に戻っていただきまして、
1:28:16	一番の回答整理表の2ページになります。
1:28:24	2ページのナンバー6番になりますとNo.6番のコメントが津浪防護施設における入力津波荷重に対する余裕の考え方について不確かさをどのように考慮するのか説明することというコメントをいただいております。
1:28:39	回答として、別途方針へと回答の①番方針についてはすでに回答させていただいてますして、
1:28:47	今回②番について回答の②番について御説明しますと、防潮点については別途入力津波水位をPRする24.4mに
1:28:57	0.6メートルの余裕を考慮した津波水位OP+25メートルで再度計算を実施しております、
1:29:06	その結果を今回資料としてお示してございます。
1:29:11	ちょっと防潮低の鋼管式鉛直筆記とあと森の堤防の強度計算書に関する結果の部分はどう差しかえをさせていただいてます引きまして、
1:29:24	それらをこの資料等への反映箇所ということで記載してございます。
1:29:29	こちらについては、止ま差し替えさせていただきましたので内容については省略させていただきます。
1:29:38	続きまして通さない整理表3ページになります。
1:29:44	3ページのコメントNo.11番。
1:29:47	コメント内容は、
1:29:49	各調停を構成する各いかに、これが生じた場合の止水性の観点から、答申という解析及び断面選定の行政システムにすることとコメントいただいております、今回の回答としては②番の回答になるんですけども、先ほどちょっと
1:30:06	No.一番ときに御説明させていただいた内容と同様の趣旨の回答となっております。
1:30:14	続きまして、
1:30:16	つまり一番回答整理表のNo.14になります。
1:30:20	14

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:21	コメントがと鋼管式鉛直駅のとぐいについて評価対象断面選定及び耐震強度計算書上の取り扱いを長杭と異なることの妥当性を整理して説明することとコメントいただいております。
1:30:36	回答としては、こちら②番のほうで決定記載した回答になりまして、
1:30:42	断面①から④各断面において評価を厳しくなる形成について類をモデル化した検討を追加で実施しまして、健全性に影響がないということを確認してございます。
1:30:54	前は評価が厳しくなる。
1:30:57	ダンパ地震時で断面②と繋がる。
1:31:01	踏み字でも断面②で重畳時には駄目①のみでずっとパラスタとしてお示ししておりましたが、そちらについては
1:31:09	説明性向上の観点から、当断面①から④全断面分の結果を追加いたしました。
1:31:16	資料への反映としては、
1:31:18	6.1. 1の参考資料 1、
1:31:21	6.1. 2-3 公衆 1 ということで、
1:31:24	各資料に、
1:31:27	断面ほかの断面の計算結果を載せさせていただいたものになります。
1:31:33	こちら詳細の説明については省略させていただきます。
1:31:41	そう。
1:31:42	結論だけ、最後、適切にまとめの文書はい御説明させていただきます。
1:31:49	6.1. 1の参考資料 1をお願いいたします。
1:31:54	はい。
1:32:13	あと、
1:32:14	6.1. 1 参考資料 1 の 34 ページに断面、
1:32:21	①から④までの結果を載せさせていただいた後にまとめということで、
1:32:27	結論を記載してございまして類としてモデル化した場合に図書としては多少若干変動はあるものの最大照査値、
1:32:38	鋼管杭の曲げ圧縮詳細になりますが、こちらに与える影響は小さくて、あと防潮というの成立性に対する影響は小さいと。
1:32:47	内ということを確認したという結論も新たに追加してございます。
1:32:54	こちらについては以上になります。
1:33:00	はい。
1:33:02	強度がにつきましては 6.1. 2 の参考資料 1 になります。こちらについても同じような記載をしてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:18	6.1. 2 の参考資料 1-56 ページ。
1:33:23	になります。
1:33:26	こちらの
1:33:28	こちら強度計算書につきましても断面①から駄目森尾まで津浪次長上司の考えの結果を載せた上で、4 番にまとめということで、今ほど先ほど地震時の耐震計算書で、
1:33:43	御説明させていただいた内容と同様のものを記載してございます。
1:33:50	規制庁苦情ですもんでちょっと追加で説明としては津波の漂流物が途端ぐいにぶつかったときの評価結果これちょっと場所と実績もありますか。
1:34:05	はい。
1:34:06	東北電力のイワダテと今ちょっとページをいたしますので少々お待ちください。
1:34:16	東北電力の四つリセット
1:34:19	漂流物の結果につきましては、
1:34:22	イトウ 6.1. 2 の参考資料 1-5 ページからになります。
1:34:33	5 ページが 3.11 津波時ということで、津波時の解析になっております。(1) 駄目①で、そこからカッコの順番で断面①、
1:34:42	から④まで。
1:34:44	その結果を載せてございまして、
1:34:47	ちょっと 1-5 ページの表 3-1 ですと、
1:34:51	たぐいの結果が表 3-1 の一番下に載っております、
1:34:56	頂部のときと比べてほぼ
1:35:01	大きな変化はないというような結論になってございます。
1:35:08	えっと剪断につきましては表 3-2 ということで表 1-7 ページにございますが、
1:35:14	多少せん断力の大きくなっているものこちらクリティカルな曲げと比べてくれているふうになっていないということでまとめに変えたと御説明になります。
1:35:26	以降を段目丸いについては、1-11 ページ。
1:35:31	だから、
1:35:33	断面③については、1-18 ページから
1:35:38	断面④については、1-25 ページから結果をそれぞれ記載してございまして、
1:35:45	構造成立性に影響を
1:35:48	私ものではないという結果を示させていただいております。
1:35:52	こちらで説明よろしいでしょうか。
1:35:58	はい、えっとこういったじゃあ後でまた言いますかね。はい、じゃ、
1:36:03	続けてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:07	東北電力予定です。
1:36:10	それでは、凸疑義の回答をさせていただきますけど資料一番に戻っていただきまして、
1:36:16	回答整理表の4ページ。
1:36:20	なります。
1:36:21	4ページNo.18になります。
1:36:24	コメント内容としてはNFシートを設置している鋼管ぐい、
1:36:28	地盤の強化解析上の境界条件について。
1:36:32	凍結とした場合と飛行月額もちろん条件が保守的となるのかについて整理することというコメントいただいております。
1:36:41	東海と今回の回答としては、②番になっていまして、実際に
1:36:47	日豪血とした場合統合欠損した場合の結果を比較して、
1:36:51	現在の御血の設定が時局に対して保守的であるっていうのを確認しましたというふうになっております。
1:36:58	資料の範囲コストとしては、②番の資料の6.1.1の参考資料三番になります。
1:37:07	こちらをお願いいたします。
1:37:11	8番。
1:37:19	参考資料三番鋼管ぐい地盤間の境界条件の補正についてということで今回集をつけております。
1:37:27	評価2ページ目をお願いいたします。評価の断面につきましては、とこ考の照査値が最も厳しい断面②と、あと鋼管杭の軸力の観点で大きく変わる断面④の2段目について、
1:37:42	境界条件を飛行決してございます。その条件については、3-3ページの図2-2にだめ②で例を示しておりますが、鋼管杭の周辺を合計としたものを時ご決議見直フリーの評価条件フリーとしております。
1:38:01	こちらの結果が参考3-4ページからになります。
1:38:07	ネットマ議について代表して説明を説明しますと、
1:38:11	表3-12断面②の曲げ照査について比較してございます。
1:38:17	こちらでは
1:38:20	日高潔として、ほとんど曲げについては変わらないような結果となっております。
1:38:28	で、
1:38:29	につきましては、12ページになります。
1:38:32	12ページの絵と3-8以降から
1:38:36	結果を示してございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:40	凍結とすることで、軸力が、
1:38:43	減ることだけに対する照査値が小さくなっていると。
1:38:48	言ったようなことになります。
1:38:53	こちらの考察について、それぞれ
1:38:58	断面④ですと、3の20ページで断面①ですと、少し戻りますが、3-12ページになったの考察を付け加えておりました、
1:39:09	ちょっと図を参考3-20ページを御説明させていただきますと、
1:39:15	次3-14に、
1:39:18	断面模様において、
1:39:20	境界条件を高潔現在の設定としてる時等、
1:39:24	鉛直の覚えとフリーにした条件の比較についてため力の比較図を示しております。
1:39:31	境界条件を非固結することで、
1:39:36	改良地盤から鋼管ぐあい作用する軸力が減りますので、それに伴って段目に来る減少しているというものになっておりました、現在の設定が5血の方です、地盤からの
1:39:47	じっくり入り軸力が大きくなるようになっているので現在設定としては妥当保守的だということで結論づけてございます。
1:39:57	こちらについては以上になります。
1:40:02	規制庁年数、今のところちょっと細かい記載だけの話なんですが、参考の3-12の
1:40:09	これ右上のBの自グループず、
1:40:14	ここで説明書かれてるんですけど。
1:40:17	これ境界条件を非豪雪としたことで、
1:40:21	改良地盤部の杭の後軸力がってことですよ。
1:40:28	東北電力のイワダテ性と誤認おっしゃる通りです。鋼管杭の軸力になります。これだろうと改良地盤の軸力に見えてしまうので、記載だけちょっと訂正しておいてください。
1:40:40	東北電力予定者承知いたしました。時際
1:40:43	適正化させていただきますと、おそらく20ページも同様かと思うんだと思います。
1:40:50	1も同様になるので、ちょっとこっちは改良部隊てるんですけど、ちょっとはい。
1:40:57	適正化統一するようにします。
1:41:01	はい。以上です。
1:41:05	続きまして資料一番に戻っていただきまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:09	次の回答させていただきます。
1:41:13	次は、整理表の4ページのNo.20になります。
1:41:18	コメント内容としましては、改良地盤や置換コンクリートが局所的に破壊した場合について破壊の進展に伴う津波防護機能への影響を整理し説明すること、また、岩盤の局所安全係数の状況を整理した上で、
1:41:32	もう調停の津波防護機能への影響を説明すること。
1:41:35	特にていただいております。
1:41:37	回答につきましては、二つ分けております。まず一つ目が、前半部分の改良地盤が置換コンクリートが局所的に破壊した場合について、
1:41:46	の検討になります。
1:41:48	二つ目が岩盤の状況になりますので、まず一つ目ですけれども、
1:41:55	2点のことから、津波防護機能に影響ないことを確認しております、一つが予想FSSとえと検討滑り線を重ねまして、引張破壊している要素に対して滑り線が引けていますということと、あとクラック方向に着目した滑り線を新たに追加しまして、
1:42:13	そちらを考慮した滑り線を考えても健全性に影響がないというのを確認してまずといった内容になります。
1:42:19	こちらはと耐震計算書の調定国家試験職域の耐震計算書で代表して説明させていただきます。
1:42:27	6.1. 1-411 ページ。
1:42:29	お願いいたします。
1:42:42	6.1. 1、411 ページですが、4、
1:42:47	323 ページ 324 ページの図 4.1-7 に示しております各断面の絵と改良地盤の最小滑り安全率における
1:42:57	局所安全係数のうち引張破壊が生じている断面について、当影響確認しますと、
1:43:03	一つ目のAとAポツとして、
1:43:06	FS図等を検討するベースの重ね合わせということで、こちらをした活動結果が6.1. 1412 ページ。
1:43:16	図 4.7-1 になります。
1:43:18	こちらをご確認いただけます通り、
1:43:23	引っ張り破壊している要素に対して今回設置。
1:43:27	今回設定した滑り線の青を
1:43:31	水色同じないしと濃い青で記載してございますが、
1:43:36	この滑り線が引張破壊した要素に対しても通っていると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:40	ということがまず確認できております。
1:43:44	続きまして、413 ページになりまして、二つ目の回答として、
1:43:50	動力状態に着目した追加すべき検討というのをこのとります。
1:43:54	この内容についてにつきましては、
1:43:57	先ほど申した通りと。
1:43:59	クラック方向の滑り線を追加しますということで、
1:44:03	具体的には 413 ページ、図 4.7-2 両括弧 1 にございますが、左側に抄録ず追加滑り線ということで書いてございまして、
1:44:15	注力方向確認して引張破壊している要素についてクラック方向を確認して、そこから
1:44:25	というような滑り線、
1:44:27	ここへと考えてこれを追加しております。
1:44:32	イトウ
1:44:33	図 4.7-2 の(1)の右側でいきますと緑色の線が追加の整備士になりますけれども、
1:44:40	こちらのような設計滑り線を追加した上で、と滑り安全率の検討を行っております。
1:44:47	その結果が 417 ページ、表 4.7-2 にお示しております。
1:44:57	追加滑り線の中での最小滑り安全率を右から 2 番目の最小滑り安全率というところで書いてございまして、
1:45:05	どちらが
1:45:08	各断面が 3 程度から 7 程度までになっております。一方を追加滑り線を除く最小滑り線ということでもともと
1:45:16	記載しております滑り線は 2.6 から 3.3 ということで、
1:45:21	幾ら高校の滑り線を考慮しても、
1:45:24	これまでの最小滑り線よりはおっきいものになりますということもあわせて確認しております、こういったことから、
1:45:33	次に破壊の進展、
1:45:35	口径と考慮しても、
1:45:38	津波防護機能に影響がないということを確認してございます。これについては、引張破壊が発生している改良地盤と置換コンクリートについて全断面について、行っております。
1:46:00	すみません、水位原です。今の図面の中でですねちょっと
1:46:08	一期間いたいんですけども、滑り線が 123 なんかいろいろありますよね。
1:46:16	これは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:18	どういうふうにして選ばれてるかっていうのを、そこら辺をちょっと説明いただけますか。既存のを直線ですすね。
1:46:28	黄色い破壊してるところっていうのを基点にして引かれてるってのは、先ほどの説明でわかったんですけど、追加の部分はすすね、どういうふうな観点で選ばれてるのかってそこんとこだけちょっと御説明願いますか。
1:46:44	東北電力の予定です。6.1. 1-413 ページの図 4.7-2 両括弧 1 を代表にして御説明させていただきます。
1:46:55	左側にへと主要力図及び追加滑り線ということで、
1:47:00	主要力ぜ。
1:47:03	と記載しております。
1:47:05	で、こちらの中で黄色で塗りつぶされたところが引張破壊をしている要素になります引張破壊をしている要素の抄録図ございますが、こちらの引っ張り方向の省力化書いておまして、
1:47:21	クラックとしては、引張破壊している所応力の方向の 90 度、
1:47:27	方向。
1:47:30	クラック報告が出るので、その高校にまっすぐ
1:47:34	滑り線を考えているといった状況になります。
1:47:39	こちらで回答になっておりますでしょうか。
1:47:46	わかりました。どっか追記しておいていただいて、ただ非常にいい訳追加と思うんですけども。
1:47:59	東北電力の予定です。ええと引っ張りの収録方向に直交さ方向とかそういったものをちょっと記載させていただきます。
1:48:15	次、続きまして回答させていただきますと資料①番。
1:48:21	の回答整理表の 23 番数が発生しました 20 番の
1:48:27	ページ。
1:48:28	②番の御回答します。
1:48:31	岩盤の局所安全係数の条件について応力状態が岩盤の応力状態が厳しくなると想定される最大接地圧の時刻に置いて、今回局所安全係数文法疾患を示してございます。その上で、せん断破壊している要素が少ないごくわずか局所化してあるので。
1:48:50	ほぼ調停の津波防護機能への影響がないということを確認しております。
1:48:55	もちろん、こちら耐震計算書を例に御説明させていただきます、
1:49:01	6.1. 1-430 ページをお願いいたします。
1:49:16	130 ページが 4. 10 基礎地盤の支持性能の評価結果になりまして、こちらの黄色ハッチングした 3 段落目からのまた以降になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:27	また以降で先ほど申した通り接地圧が厳しく、もう調停が
1:49:34	失礼いたしました。岩盤の局所安全係数分布を示すにあたって、
1:49:40	D級岩盤ですとかCAQ岩盤の4月の観点に着目しても調停側の敷地側に変形して、改良地盤の接地圧が厳しくなるような
1:49:49	ケースを選んで局所安全係数分布をお示しして上で、
1:49:54	破壊が局所的であるので。
1:49:57	判断津波防護機能への影響はないといったことを確認してございます。こちらの具体的な絵につきましては、
1:50:07	451ページになります。
1:50:17	451ページの図4.10-3から岩盤部の局所安全係数分布ということで、断面①から断面④まで示してございます。
1:50:28	こちらでお示すように、
1:50:31	ごくわずかですがCL級で一部せん断破壊する要素ありますけれども、
1:50:36	一部でありまして、破壊が貫通しているものではないというものでありますので、津波防護機能には影響ないということを確認してございます。
1:50:48	20番の回答につきましては以上になります。
1:50:52	ある一番の資料に戻っていただきまして、
1:50:57	回答整理表のNo.23番になります。
1:51:02	23番がえと滑り線の設定の考え方について説明することということで、今回の回答は②番になりますが、
1:51:11	各断面での各部位の設定滑り線について記載しておりませんでしたので、各断面各部位の追加滑り線を設定した滑り線ですね、こちらを
1:51:23	新たに追加してございます。
1:51:25	資料への反映箇所としては記載の通りでして、6.1.1-215から225ページ。
1:51:32	あと6.1.2-85から95ページ。
1:51:36	はい、記載しております。
1:51:38	例として6.1.1-216ページをお願いいたします。
1:51:44	はい。
1:51:52	失礼しました216と少しわかりづらいので、210、
1:51:57	7ページ18ページ。
1:51:59	次へと置換コンクリートの想定滑り線ということで記載しております。
1:52:03	こういったので、各断面、
1:52:06	冒頭にどういった滑り線を設定してますというのを全断面弁
1:52:12	記載しているの形になります。
1:52:15	こちらの回答以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:19	一番の資料をちょっと戻っていただきまして、次が 26 番になります。
1:52:26	16 番が絵と変形水圧試験についてボルトを含むゴムジョイントの固定部の確認方法をぜひ説明すること。
1:52:35	回答としては、
1:52:38	基本的に直接的な試験による確認を行っていないという状況がありますので、計算して検討している結果を示してございます。資料が 6.1. 5-20 ページから 23 ページになります②番の 6.1. 5、20 から 23 ページです。
1:53:08	6.1. 5、20 ページカッコdということでゴムジョイント取付部という所を追加して、こちらの検討内容を追加してございます。
1:53:19	ちょっと検討を概要としては、21 ページの図 6.1. 5-14。
1:53:25	2 系統概念図記載しておりますが、
1:53:28	この図を見ると水圧Pが斜め上方向、右の上、斜め方向にかかったときにさボルト部の締め取付部に作用する。
1:53:39	N0 というファン引張力を出して、
1:53:43	そこから
1:53:48	御矛盾とか、歳以下と構成者整理から引き抜かれる力と引張力Tとってますが、
1:53:54	キーを出して、そのtから摩擦の式でボルトの抑えるために必要なボルトの軸力を出して、
1:54:03	その軸力NIに対してボルト、
1:54:07	応力としてボルトがもつかどうかという検討を示したのになります。
1:54:14	詳細が 20 ページから 22 ページの間までに 13 ページですね、間までに記載したのになります。
1:54:26	26 番につきましては以上になります。
1:54:30	資料①に戻っていただきまして、回答整理表 5-6 ページ。
1:54:36	27 番になります。
1:54:41	27 番が絵と設置許可時に説明していった構造境界部における剥離状況浸透流解析における水みちの考え方について、詳細設計段階での考察を説明すること。
1:54:52	ということになっておりまして、こちらの回答につきましては、系統No.一番と、あとNo.11 番で先ほどお話ししたご説明させていただいた内容と同じになりますので省略させていただきます。
1:55:06	続きましてナンバー28 番になります。
1:55:08	No.28 番が地震力が作用する方向に斜面が存在するRC作成平均について。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:14	水平方向地盤ばねの設定地震応答解析に対して水平性層として評価することの適用性を説明すること。
1:55:23	というコメントいただいております。
1:55:25	回答としては、建築工事。
1:55:28	建築基礎構造設計指針における限界水平距離の考え方をういて、その限界水平距離のよりもある視察に来の
1:55:38	所と、あと乗り方間距離が大きいので斜面の影響も無視できますという回答の趣旨になりまして、
1:55:47	資料が 6.1. 1 の参考資料 6 になります。
1:55:52	こちらをお願いいたします。
1:56:02	6.1. 1、参考資料 6RC壁部の地盤ばね評価についてということで、
1:56:09	どうぞ。
1:56:11	RC壁部については、フランス乱泥流のばねを用いて水平と鉛直地盤ばね評価しておりますが、一方、斜面が存在するので、そういった影響検討してございます。
1:56:24	2 ポツに考え方ということで記載してございまして、建築基礎構造設計指針によりますと、この 2 ポツの 2 行目からですが、斜面の影響は区域からの伊方までの距離が増加するに伴った小さくなって、
1:56:40	この距離がある程度である程度以上になると称するというので、
1:56:46	この距離を限界水平距離NCと言っております。
1:56:50	このLCO出した上で、
1:56:53	このLCO実際のRC壁部の
1:56:56	特異からのり方までの距離がLCより大きいということを確認できれば、このような意見無視できると考えて検討しております。
1:57:06	Lc実際について算出したLCとそのパラメータにつきましては、参考資料 6-2 ページの表 3-1 にお示ししております、
1:57:17	一番下に原価水平距離Lしございますが、こちらの値が 7.59mとなります。
1:57:26	一方、実際のRC壁部の陸域のAと鋼管杭からの伊方までの距離が 6-3 ページ。
1:57:35	図 3-1 に示す通りでして、
1:57:37	敷地右側については 8.9m、敷地北側の斜面に向けては、13、18.3mということで、
1:57:46	健康水平距離LCよりも大きいということを確認しておりますので、
1:57:53	斜面の影響を無視した結果、無視できるということで結論づけてへとこのような検討、今回

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:01	水平性層としてモデル化して検討を行っているということになります。
1:58:08	はい。
1:58:09	続きまして①番の回答整理表の
1:58:15	6 ページ 29 番になります。
1:58:19	減衰情勢の設定について苦洪のヒヤリングにおける確認事項を踏まえて、津波防護施設としての考え方を整理して説明することということで、
1:58:29	回答内容としては苦洪での編成設定の考え方を踏まえて、
1:58:34	元帥の考え方を記載するとともに、2 次固有振動数を一次固有振動数は 3 倍として設定することが根拠などを示してございます。
1:58:45	あと、
1:58:46	6.1. 1-3435、34 ページから 45 ページ。
1:58:50	その内容を記載してございます。
1:59:04	6.1. 134 ページ、3.2. 4 の減衰定数というところ。
1:59:10	でして、黄色ハッチで修正した部分を記載しております。基本的には苦洪の補足説明資料でいろいろコメントいただいております、そちらで修正してあと隔している内容、
1:59:25	こちらにフィードバックして修正を加えたものになります。
1:59:31	その内容が 34 ページから 45 ページということで、
1:59:35	直した部分を切る発言してお示してございます。
1:59:40	こちらの回答については以上になります。
1:59:49	規制庁フジワラです。ちょっと 2 時間経過しましたので、これちょっと救急挟まさせていただきますと 45 分再開でよろしいですか。
2:00:01	はい、規制庁浮上です。ヒヤリングのほうを再開しますが、まずコメント回答については、一旦ここで止めてまず質疑応答、これまでの案件について質疑応答をさせていただきたいと思えます。
2:00:14	私のほうからちょっと何点かちょっとまず先に良いと確認なんですけども、6-1-1 の
2:00:22	参考 2-3 をお開きください。
2:00:27	6-1-1 の
2:00:29	参考の 2-3。
2:00:38	これは、
2:00:40	これはそっからこの前、
2:00:42	今回の説明と違うところが違うところですけど、一応NISとの今回の資料出てるんですけど合わせてお話しさせていただきますけども、ここでちょっとなんか結構鋼管ぐいに対して何か結構大きな圧力がかかると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:56	これそもそもこの資料つちゅうのがなんか結構そういったなんでこう軸力がすごい大きいんですかねという、参考 2-1 ですから、この説明の中の一環として、多分書かれているものと思いますので、
2:01:09	これ鋼管杭の方にすごい大きな軸力からわかりましたで貯金してんのが軸力がこんな大きかったら設置時迷う岩盤とかでそう接地圧協議会に入っているのかちょっと今よくわからずこれって、
2:01:25	どういうふうな考えなのかちょっと説明いただけますか、要は、どこが評価対象部位になっているのかっていう観点ですね、実際ここでセメント改良度が防潮ではあって、一方で、鋼管杭も多分Sクラスであると思うんですけど。
2:01:41	その辺の関係がちょっとよくわからず、はい。説明ください。はい、東北電力のイワダテです。
2:01:48	えっと断面④の鋼管杭の接地圧につきましては、補足説明資料の 4.6. 1.1-4 十勝の基礎地盤の申請の評価で、鋼管杭と看板の設置部の接地圧の評価を行っております。
2:02:05	具体的なページを今ちょっとお示します。
2:02:08	6.1. 1-433 ページになります。
2:02:17	6.1. 1433 ページ、表 4. 10-1、資料(4)で、基礎地盤の申請の評価、鋼管杭断面④というふうになってまして、こちらで鋼管杭下端に発生する接地圧等と岩盤の結果、許容限界を比較して、
2:02:35	今日値以内ですということを確認しているものでありますので、こちらは
2:02:41	厳しい照査値が、
2:02:43	解析ケースもあるし、一番さなんですけど解析ケース③地震動SD程度マイナスマイナスで照査値 0.43 になってますんで、ほかの断面を見ますと、前のページ、
2:02:55	6.1. 1432 ページ、430 から 32 ページが断面位置 123 になりますけれども、
2:03:03	こちらの衝突見ますと、照査値で基礎地盤の接地圧で 0.1 から 0.2 ぐらいの間、
2:03:10	いうふうになってますので、そういったところでさっき御説明した軸力大きくなっていう差がここの辺りに表れているのかなと思います。
2:03:20	以上です。はい、規制庁浮上ですが、あと、デカイところの軸圧反映されて、今説明わかりました結構なんか軸力が 2 万とかできるんで、設置圧を
2:03:33	あんまりそんな大きくはならない。
2:03:35	また、
2:03:38	わかりました。はい。
2:03:41	あともう 1 個確認が 6-1-3。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:45	もうちょっと
2:03:46	どう。
2:03:48	ちょっとページ数はちょっと書いてないんですね、ベースの返済と。
2:03:53	6-13 をちょっと開いていただいて、
2:03:58	今回コメント回答と局所破壊が別途津波防護機能へ与える影響という観点でコメント回答があったかと思うんだと思います。
2:04:11	6-1 の説明で私ページ開きますので、
2:04:18	6-1-3 月の森の堤防に関する補足説明がありますので、
2:04:24	これの
2:04:25	セメント改良っていうのが 6-1-3-3 ページで、セメント改良ですね、あるんですけど。
2:04:33	ちょっとその局所破壊の説明というのがちょっとサマリー見当たらなかったんですけどそれって何か。
2:04:39	何でないのかっていうのをちょっと説明いただけますでしょうか。
2:04:45	はい、東北電力のイワダテです。
2:04:48	ちょっと 6-1-3 の堤防につきましては、設定値施設がセメント改良になっておりますので、こちらの局所保管についてですが、
2:04:58	結論から言いますと、局所ばかりシェル要素がないので、として検討していませんということになるんですが、該当のページとしては 6-1-3-60 ページになります。
2:05:13	6-1-3-60 ページ 4.1. 2 局所安全係数分布括弧セメント改良度というのがございまして、こちらに
2:05:22	セメント改良の滑り安全率が一番小さくなる時刻の局所安全係数分布を示してございます。
2:05:29	こちら見ていただきますと、
2:05:34	予想真っ白になっておりましてより局所はつきりしていないということを確認できておりますので、
2:05:40	今回、
2:05:42	引っ張りの進展を破壊の進展などということで御説明したものを対象外ということになっております。参考にですがも予定分につきましては、置換コンクリートとセメント改良どちらも極小破壊がないという結果になっておりますので、
2:05:57	6.1. 3 の資料上では、改良地盤の破壊の進展のみの検討になってございます。
2:06:05	以上です。
2:06:08	はい、規制庁ですわかりました。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:12	しとるルート存在ちょっと若干ちょっと前回の
2:06:16	花C前々回のヒアリングのときの話についても、もうそうさかのぼっていますけれども、6-1-5-4 ページ。
2:06:23	お開きください。6-1-5 の
2:06:28	4 ページですね。
2:06:34	この 4 ページだとゴムジョイントを背面補強工に沿ってと配置するような
2:06:42	話になってますんで。
2:06:45	以前からずっと申し上げてますようにゴムジョイントの配置っていうのがその背面補強工の前面、
2:06:52	要はこれあの、左下に何か漂流物防護工のところがあるんですけど。
2:06:58	漂流物防護工の下河のどこで
2:07:03	ゴムジョイントが入ってるかちゅうのがちょっとわかりま線、
2:07:08	要は、常にどんな経営埋め込まれているんですかとかですね。
2:07:11	運當地中化或いは改良地盤でしたっけ。時セメント改良とか、そういったのもちよつと全部、
2:07:19	一部範囲
2:07:27	そうですね。はい。
2:07:29	ちゃんとそういうチームまで埋まっててその水がCもし尿防止できるか、そういった全体の配置図がわからないのでそこをきちっとしていただきたいと思っ ますが、いかがですかね。
2:07:45	ここ電力の田村です。
2:07:49	ちょっと資料がなくて大変申しわけありませんでした。続けます。この同じペー ジの一番上に全体の絵がありまして、
2:07:59	背面補強工の手前側というか海側になりますけど、そちらにその茶色いセメン ト改良のところがありまして、その下まで行くような形になりますので、わかる ような
2:08:15	次回つけたいと思います。はい。以上です。
2:08:19	規制庁フジワラですわかりました。そんな時にちょっと巻きにしているのが表裏そ もそも止水ジョイントは漂流物が当たりません。なぜならええと漂流物暴行が あるからですという話がありまして、要はもしかして起こって漂流物膀胱の外な のかそれとも
2:08:36	内なのかそれともちゅうのか、わずかでも露出してるのかちょっとわからない のでそこら辺きちっと漂流物衝突の観点からも明らかにしていただきたいと思 ってますが、それは開発が区或いは流木等の迫ったやつが入ってくるか、そう いう観点もちよつと今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:52	今後、
2:08:53	いうふうな関係になってるかわからないので、そういった観点で整理をいただいてもよろしいですか、漂流物という観点も含めて、
2:09:01	東北電力予定です。承知いたしました。今ご指摘いただいた点も踏まえて整理して当事会
2:09:08	回答させていただきます。
2:09:10	以上です。
2:09:15	規制庁エザキです。今の話ですね、どこかで、
2:09:20	指摘しようかと思ったんですけど、いわゆる不を
2:09:24	取水止水ジョイントというレター等ゴムジョイントあるんですけど、それからですね多分もう御する役割は担ってると思うんですよね。
2:09:36	なんだっけ表 6 坪を僕は、
2:09:40	そういった役割があまり全体から見て、あまり明確になっていないなと思っていて、
2:09:49	すみません
2:09:50	ちょっと、
2:09:51	ページが戻っちゃうんですけど、例えば、
2:09:57	この 10-27 ページ、これって、各施設合理化。
2:10:01	図なんですけど、いわゆる
2:10:04	うん。
2:10:06	ふうん。
2:10:07	こういった表でいろんなこれはこの岩盤部のところに上がってるんですが、
2:10:15	総評 6 坪試行の層でシンチの役割で津浪の役割っていうのが全部後ろのすべての同じ表がついていて、
2:10:25	いわゆる
2:10:27	そう。
2:10:29	僕は
2:10:31	力の伝達だけだと、荷重伝達だけだっけしか書いてなくて、
2:10:35	実際これを
2:10:38	つける受けて、
2:10:41	期待する役割って何ですか、効果とか、それが見えないなと思っていて、多分一つは止水ジョイントを保護してるっていうのは、
2:10:51	わかるんですよね。いろんな漂流物。
2:10:56	あるでしょうから、ゴム製のものに対して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:01	傷つけてしまったり、水層損なうような損傷を与えないように防護してるっていう意味合いが強い。
2:11:10	そういう理解は随分上は理解できるんですけど、それはそう文章としてどこにも落とし込んでないのかなっていう気がしていて、それはちょっと明確にして欲しいのとですね、それだけで使っているの、多分、
2:11:25	防潮ていうのをある程度構成とか強度、
2:11:29	そう等が漂流部数ですよ。
2:11:33	もう荷重に対してある程度体制を上げてる意味合いもあるんじゃないかなという
2:11:38	それは期待していないのであればそれは要らないんですけど、この辺が明確になっていないので、
2:11:43	それと施設の設備施設としてのですね位置付け、
2:11:48	これは防潮てなのか。
2:11:50	その一部なのか、それとも、何ていうんですか。岡野。
2:11:56	そう。
2:11:58	普通、普通の影響軽減措置にあたるのか、そういった話がちょっと明確ではないので、それらがわかるような位置を設備。
2:12:08	施設としての位置付け、
2:12:10	わかるような形で
2:12:13	役割効果っていうのは明確に
2:12:17	にしていだけないかなと思うんですが、いかがでしょうか。
2:12:23	はい、東北電力の橋本です。まず後の方の御指摘聞いて位置付けのほうなんですけども
2:12:32	趣旨としては施設の中の部位の一覧で書いてあるように傍聴低の一部ということで位置付けておりましたけれどもちょっとその辺の書き方については工夫させていただきますと、あと
2:12:47	役割についてはちょっと荷重伝達のほうに少し目が行き過ぎていたところがあって、
2:12:55	伊ワマ漂流物防護工ですのでどこを守ってるのかとかっていうところの観点も少し言い足りなかったかなと思いますのでそういった観点も加えてちょっと役割を再度見直したいと思います。以上です。
2:13:14	東北電力の田丸ですけれども、
2:13:16	別途防護工が止水ジョイント等を守ってるとかっていう話は以前のヒアリングとかで何回か議論をさせていただいたというかお話はさせていただいて、ただその資料にその辺について明記していないという状況。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:35	だと思しますので、その辺については、わかるように記載をさせていただきたいと思ひます。以上です。
2:13:46	規制庁部長ですよ。その辺はまた整理をお願いします。
2:13:51	もう1点がですね6-1-5-23ページ。
2:13:57	お開きください。
2:13:59	23これあの今日先ほど説明あった。
2:14:06	つまり小野側が言ったやつしないようなゴムジョイントっていう
2:14:10	試験だけの水圧だけでやってるけど、そもそも取り付け部とか、
2:14:15	うん。その代表評価部位の代表性ってどうなってるんでしょうかっていうのはに 対する回答が今ここでは先ほど
2:14:22	時私どももまた定性的な代表性示していくのかと思つたら結構まあ定量的に代 表性を示してこれわかりやすいかと思ひます。1点ちょっと確認なんですけど も、この5-1-25-1、6-1-5-23で、
2:14:39	この23ページでは、その止水機能っていうのが何かもうトルク管理で何かこ う、
2:14:46	確保するようになんかそういうふうなちょっと印象を私これを受けたんですの で、
2:14:51	そうなるとなんか要はその止水機能がちゃんと確保するために何か施工後も やっぱり継続的にその取り組みを
2:15:00	維持していく、要は定期的に多分チェック
2:15:04	ユニソバ進めるとかそういうことで、多分、
2:15:07	するのかって言うだけちょっと確認をしたいんですけど、雨水ポンプ会ではそう いう意図でしょうか。
2:15:19	と。
2:15:20	東北電力の田村でございます。
2:15:28	えーとですね。
2:15:33	書いてなかった。
2:15:37	時間がたった後での評価ということでの話です。
2:15:46	そうだ。ごめんなさい。23ページの
2:15:50	応力緩和係数で見ているということ。
2:15:55	だったりするので、基本的には施行時のトルク管理で確認するものと考えてお ります。
2:16:56	規制庁、布田です。はい、ずっと1回、またプラントの案件とか、つまりさせて もらおうと思ひますが、この辺は、
2:17:06	私のほうは以上でして、そのほか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:19	規制庁の
2:17:21	規制庁の伊藤です。資料 1 なんですけども。
2:17:28	2 ページ。
2:17:30	No.で言うと 6 番。
2:17:36	津浪防護施設及び浸水防止設備における入力津波荷重に対する余裕の考え方ってところなんですけども、ちょっと回答でいうと、マルイー番のほうにちょっと関連しちゃうんですけども、この浸水防止設備に
2:17:52	のほうにに対する
2:17:55	ちょっと記載が少し足りないかなと思ってましてつまりイトウ今一番で回答してんのは、水位に対する
2:18:03	余裕というところ。
2:18:06	説明していると思うんですけども、申請防止設備の中には突き上げ津波荷重、
2:18:13	考慮しているところもあるので、
2:18:15	そこについては、市水だけじゃなくて、流速、
2:18:21	突き上げ津波荷重では多分、流速が支配的だと思うんですけど、この流出流速の設定に関して、
2:18:30	その不確かさを考慮したのか、同意を持っているのかっていうのを合わせて記載。
2:18:38	していただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。
2:18:49	はい、東北電力の橋本です。すいませんちょっと回答整理表の書き方が少しうまくなかったかと思うんですが、
2:19:01	このコメントにつきましては傍聴でただけではなくて、おっしゃるように他の浸水防護施設一般についていただいたコメントでちょっとこの回答整理表では防潮てに絞ったような書き方をしている、他のイワダテ耐津波一般のところでもう
2:19:21	どうシノといいますか同じ趣旨のコメントをいただいていたのでちょっとそつちとの書き方を
2:19:27	少し調整してこの防潮ての回答整理表ではこの趣旨でわかるようにして
2:19:35	ほかの
2:19:37	なんですかね他の申請防護施設とかについては、
2:19:41	なお書きで何か入れて、そっちで見てわかるようにとか、ちょっと工夫させていただきたいと思えますちょっとこちらあまり細かく書くとそれはそれでわかりにくくなるかと思えますので、対津波の回答整理表のほうにも同種のコメントが乗

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>ついていたはずですのでちょっとそっちのほうの記載と合わせて調整したい と思います。</p>
2:20:03	<p>はい回答整理表の記載はこれでいいと思うんですけども、サイトウタイプ。</p>
2:20:09	<p>あ、失礼いたしました東北電力の橋本です。で耐津波のほうの回答の中で流 速について説明している資料がございまして、流速、それぞれ計算値をまとめ て、</p>
2:20:26	<p>評価に使ってるところがございましてちょっとそっちのほうは、</p>
2:20:32	<p>主に高さについてだけ回答していたので、そうですねちょっとこの余裕の考え 方のところに流速を入れるかどうか。そうですね、ちょっと改めて</p>
2:20:45	<p>入れるべきかどうかも含めてちょっと整理させていただきたいと思います。</p>
2:21:05	<p>はい。</p>
2:21:11	<p>規制庁のエザキです。</p>
2:21:13	<p>あの流速、</p>
2:21:15	<p>ただ、丸めているとかなって気もしないでもないんだけど、それがそう上げなき ゃいけないというよりは、まずそうだ、どういう観点でまとめているとか、そうす っとそれはそう。</p>
2:21:27	<p>どういう補正を</p>
2:21:29	<p>不確かさに対して保守性を持たせてるのかそういうものをは関係説に上げて いるのか。</p>
2:21:35	<p>それだけは明確にしておきたいなと思ってるんですよ。</p>
2:21:39	<p>というのは何か。</p>
2:21:40	<p>いろいろと議論していただくんで。</p>
2:21:43	<p>これだけ余裕を持ってますっていう話は、やっぱり土佐っ子SSR設計なんかど うしても議論すると出てきますよね。創造。</p>
2:21:52	<p>余裕しろっていうのは、そういう、そのときに、対象になってるでしょ。</p>
2:21:59	<p>に該当するものなのか、そうじゃないのか、該当しないものだった削り落とせな いんですよ、それに使えないですよそういうことが明確ではないので、</p>
2:22:08	<p>基本的にはんなきゃいけないということではないんですけど、該当はしないけ ども、</p>
2:22:13	<p>それからに対する不確かさっていうものは考えてはいないんだけど、数字とし ては切り上げてあげているだけなのか、そういったことはある程度明確にして 欲しいと一つなんですよっていう意味わかります。</p>
2:22:25	<p>今日はいろいろ津浪って不確かさがいろいろあるじゃないですか。それでいろ いろ新知見が出てくるますよね。いろいろと審査した後にも、そうしたときに、そ</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ういったものに対しては耐性があるものがあるかどうかというのは、後々また
2:22:43	こういった工認図書をもとにして判断していくわけですけど我々はそうしたときに
2:22:49	それらがどういったらいいと思ってそう余裕を持たせた数字になっているかっていうのが理解できないと、基本的にはそういった新しいタイプの事象に対しての体制はわからないということ。
2:23:04	ことになってしまうのでもし、それをある程度どういうものがガム明確化できてればそれは使える語学使えないのか判断できると思いますんで、そういったことである程度余裕をの取り方っていうのは何に対して余裕をとっているとかっていうのはある程度、
2:23:20	わかるような形にしていただければ。
2:23:24	よろしいかと思うんですけど。
2:23:27	はい、東北電力の橋本です。趣旨理解いたします
2:23:34	確かにおっしゃる通りで流速は単にまとめてるところと余裕持っているということもひょっとしたらあるかもしれませんがあのような荷重として、どこで余裕を見ているかっていうところをちょっと整理した上で、
2:23:51	津波荷重に対する余裕の考え方として何をみてるんだっていうのをちょっと整理した上で記載を、
2:23:59	そうですね、ここに記載するかもありますけれどもちょっと考えたいと思います。以上です。
2:24:14	規制庁フジワラですかとはちょっと先の流速の不確かさの件については今の実績にどんだけ不確かさを見る不確かさの根拠的な整理いただくとしてあと立て付けですかね、申請書のどこに何を書くかっちゃうのが、
2:24:31	すぐ次には多分クルー整理かと思しますので、その辺もきちっと整理ください。例えば、確か前回のヒアリング資料だと、補足にしかなんかそこら辺がなくて、しかもそれでも十分な説明はありませんでしたので、我々が求めているのは添付の書類に。
2:24:49	ちゃんどこまで書くか、例えばその入力津波高さの余裕の考え方、この今のコメントNo.6だとばかしハザードに対する余裕地のこれ6-1-1-2-4ですか。あそこに人書きますよね。
2:25:04	本年度同様に流速についても添付の書類としてどっかに何かあったほうがいいんじゃないかというのはちょっと何となく今思ってますと私6-1-1-2-2-4に書くか、それとも今の別添の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:19	3-1 のほうに書くかとかですねそういった仕分けというのはちょっと今まだされてないと思うので、その辺りの要は規則の位置付けだとか或いは原発に何かとかそういうのを踏まえて余裕の考え方ですかね、解釈別記 2 に書いてあるがゆえに入力津波耐性が五つ御考えください。
2:25:37	よろしいですか、申請書の位置付けとして、
2:25:41	はい、東北電力の橋本です。審査の進めていただき方としてちょっと先に補足で内容のほうへと詰めさせていただいてる状況でございましたので
2:25:54	当然添付のほうにも何も反映すべきかということは整理して今おっしゃっていただいたその余裕の考え方をどこに書くかというのも含めて整理させていただきたいと思います。以上です。
2:26:29	はい規制庁吉原です。こちらのほうから、
2:26:33	今回はコメント回答についての質疑は以上でして、北電さんの方から何かございますかね、特によろしいですか。
2:26:40	はい。特に東北電力からはありません。
2:26:45	以上
2:26:48	次へと復水貯蔵タンク基礎、
2:26:52	に入ります。少々お待ちください。
2:29:55	はい、じゃあ規制庁フジワラです。復水貯蔵タンク基礎に関してええと説明を先に説明してもらいましょうか、説明のほうをお願いしてもいいですか。
2:30:07	はい。
2:30:18	はい、東北電力の斎藤です。本日の資料なんですけれども、6月2日のですね、先週のヒアリングの資料をもとに説明をさせていただきますわね。資料番号なんですけれども資料 2、
2:30:34	ー3-4 とあと、資料 2-32 ですね、御説明資料の額ずつちようど復水貯蔵タンク基礎の資料 2-3-4 まで添付処理、
2:30:48	資料 2-32 のほうが補足説明資料になりますので、本日は、資料 2-32 を中心に説明をさせていただきたいというふうに思います。
2:31:01	東北電力ホリミです。資料 2-30 に
2:31:07	屋外重要土木構造物の耐震安全評価についてのうち、資料 10 に復水貯蔵タンク基礎の耐震安全性評価を通し番号をつけてございますが、1133 ページからでございます。
2:31:30	それでは復水上端基礎の耐震安全性評価について御説明いたします。
2:31:36	ページめくっていただきまして、1137 ページで個別の 1 ページをお願いいたします。
2:31:42	1 ページ、評価方法でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:46	復水貯蔵タンク基礎は、造成世代重大事故体制整備である復水貯蔵タンク、復水貯蔵タンク水位計、高圧炉心スプレイ系配管及び複数椅子復水移送系配管等を勘案是正してございまして、
2:32:01	支持機能は要求される施設でございます。それに対して基準地震動Ssによる耐震評価として、構造部材の曲げ軸力系の破壊せん断破壊及び基礎地盤の姿勢に対して評価を実施いたします。
2:32:14	構造物の健全性評価につきましては、
2:32:18	鉄筋コンクリート部材のひずみ、せん断力、面内せん断ひずみ及び発生応力度、こちらについて適用限界を下回ることを確認いたします。後程ご説明いたしますが、上部工の差平気と基礎版それぞれをモデル化しておりますので、
2:32:35	今日限界が異なっております。それは後程御説明いたします。
2:32:40	また基礎地盤につきましては、申請の評価ということで、接地圧について確認を行います。
2:32:46	続いて2番適用規格ですが、こちらにつきましては1138ページの表2-1の通りでございますので割愛いたします。
2:32:55	それでは1140ページをお願いいたします。
2:33:01	耐震評価フローについて御説明いたします。
2:33:05	復水貯蔵タンク基礎の地震応答解析フローと耐震評価フローを次ページ以降示してございます。
2:33:12	CSP、復水貯蔵タンク基礎の特徴としましては、火線方向に平行に配置される妻壁下げ平気と平面ブザーを有する箱型構造物であり、
2:33:24	常設代替交流で常設重大事故等対処設備を整備する機能が要求されることからシェル要素を用いた三次元構造解析に耐震評価を実施してございます。
2:33:35	1141ページ、個別の5ページをお願いいたします。
2:33:42	こちらに地震応答解析フローSEM示してございますが、
2:33:46	右側の検討開始から
2:33:50	解析方針設定等々でございますが、地震応答解析を行います。
2:33:54	その後右と左に分かれますが、一つは右側の機器配管系の応答加速度の抽出、左側が地震応答の抽出としてフローがございまして、
2:34:05	そこからまた二つに分かれて、一つが地盤の止水性の評価。
2:34:11	もう一つが三次元構造解析に用いる応答値の算定というフローでございまして、
2:34:16	次のページをお願いいたします。
2:34:19	次のページが、耐震評価フローでございまして、右側に影響限界の設定等々ございまして、右側の列が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:27	三次元コード解析流れるフロー左側が受振をとか設計からきて二つに分かれるんですが、左側地盤姿勢の子供下げた右側が三次元構想海進水道等地域となりますが、
2:34:42	地震応答解析を踏まえまして三次元を構造解析に入力する土地を求めます。
2:34:49	それはまず照査時刻を部材着目等々を行いまして、調査時刻を選定し、その後地震荷重を算定し三次元構造解析を行い、各部材の健全性の評価を行います。
2:35:03	評価はすべて三次元構造解析による評価を行い、評価を終了というようなフローでございます。
2:35:10	続いて、1143 ページをお願いいたします。
2:35:16	地震時荷重 3 スタンドの選定でございます。
2:35:20	次ページ以降の位置図、平面図断面図を抱える廃棄物等々ございますので、こちらで御説明いたします。次のページをお願いいたします。
2:35:30	1144 ページ、個別の 8 ページでございますが、こちらにつきましては、
2:35:37	位置図でございますが、原子炉建屋北側に復水貯蔵タンク基礎が位置します。
2:35:42	次のページをお願いいたします。
2:35:45	1145 から 1146 ページにかけては、構造図、平面図断面図を示してございますが、
2:35:53	kAタンク室及び経営タンク連絡ダクトとMMRを共用する構造物でございます。
2:35:59	また、特徴としましては、1146 ページをご覧いただきたいのですが、
2:36:05	個別の 10 ページでございます。
2:36:07	部材圧 5mの
2:36:10	基礎版上に固定される先平気バルブです。
2:36:16	100 ダクトから構成されるような構造物でございます。
2:36:20	前押しして申し訳ございませんが、1251 ページお開きください。
2:36:28	個別のページでいきますと 115 ページ、116 ページでございます。
2:36:34	復水貯蔵タンク基礎につきましては、CCbによるせん断補強やってございます。CCbをやっている箇所を黄色で明示してございます。
2:36:45	黄色でわかる通り、バルブ室、
2:36:48	いや、連絡ダクト遮へい機能の一部というところでCCbを用いて、せん断補強を行ってございます。
2:37:03	せん断が調査を踏まえて厳しい箇所に補強を行っているというところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:10	続いて、1150 ページをお願いいたします。
2:37:14	個別の 4 ページでございますが、地質断面図を示してございます。
2:37:19	ウェイ側の図が南北高校操図が東西方向でございまして、
2:37:26	CST、復水貯蔵タンク基礎が円筒検査併記を有するということから、
2:37:32	不明確な弱軸と共生を有していないと言ったところがありますので、それぞれの断面で耐震評価を行うようにしてございます。
2:37:41	次のページをお願いいたします。
2:37:44	使用材料、材料の物性値地盤物性値を以降示してございますが、記載の通りでございます。
2:37:51	続いて 1156 ページをお願いいたします。
2:37:56	評価を構造物諸元ということで、表 7 の通り示してございます。
2:38:01	評価部位を次ページ以降、次 157 ページから 1158 ページにかけて、上の表の 7 とリンクするようなことで記載してございます。
2:38:11	左側の表 2 の表をご覧いただきたいんですが、左側にV
2:38:17	の列は主要材料要求機能でございまして、部分のところでは平気バルブ室、バルブビスハッチ部連絡ダクト基礎版とございまして、
2:38:28	基礎盤を除く下げ平気から連絡ダクトがいわゆる上部工とstage非線形する要素でモデル化を行ってございます。
2:38:35	下の基礎版が線形シェルでモデル化をしております、
2:38:40	それぞれについて後程モデルで御説明いたします。
2:38:46	続いて、1160 ページをお願いいたします。
2:38:52	1160 ページの地下水、
2:38:55	記載されてございますが、こちら記載の通りでございます。
2:39:01	続いて 1162 ページ、個別のページ番号 26 ページをお願いいたします。
2:39:08	地震応答解析手法について御説明いたします。
2:39:12	復水貯蔵タンク基礎は、基礎版基礎盤上の先平気バルブ室連絡ダクトから構成され、基礎盤は復水貯蔵タンクを間接支持しており、地震応答解析においてはこれらの部材との御そういうする質点と線形はりにより、
2:39:30	モデル化をしてございます。
2:39:32	これらを示すフローで示してございますが、地震応答解析につきましては、28 ページに示す全体で言いますと 1164 ページに示すフローで行ってございます。
2:39:44	上から地震応答解析手法の二次元輸送解析、
2:39:48	解析手法非線形解析次の段構造モデル地盤モデルでございますが、今ほど申し上げた構造モデルを扇形の線形はり遅くて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:58	モデル化をしてございます。
2:40:01	て解析手法は前のページで示してございますが、全応力解析を行ってございます。
2:40:10	えっと次のページお願いいたします。
2:40:13	1165 ページ、個別の 29 ページでございます。
2:40:17	地震応答解析モデルの設定でございますが、こちらにつきましてははた構造物と同様の考え方でございますので割愛いたします。
2:40:26	続いて 1172 ページ。
2:40:31	個別の 36 ページをお願いいたします。
2:40:36	構造物のモデル化について御説明いたします。次頁に示します図 3-9 を横目に見ていただければというふうに思います。
2:40:47	乗れるは水平方向モデル延長補鉛直方向モデルの振動に対して、それぞれモデル化しております。
2:40:54	水平方向の振動に対しては、復水貯蔵タンク遮へい平気バルブ室へ連絡ダクト及び基礎版は、これは鉛直部隊と等価の曲げ及びせん断剛性を有する質点系モデルとしているものであります。
2:41:09	また、構造上繋がっております遮へい器とオリフィス間バルブ室と連絡ダクトバルブ室と連絡ダクトも聴聞位置で水平方向剛性を勘案したばね恐れ連結してございます。
2:41:23	あとは復水貯蔵タンクには、自由水のスロッシングを考慮するための視線とバネ要素を付与してございます。
2:41:30	各部材が基礎板上面で一体として挙動するように、基礎版の上限は 5 バネでモデル化し復水槽タンク射撃バルブ室連絡ダクトは基礎板上面で水平、鉛直及び回転の自由度を
2:41:47	共有するようにモデル化してございます。
2:41:56	また、
2:41:57	水平方向鉛直方向にずれるのでにつきましても、構造物と周辺地盤と総合作用を考慮する必要があります。そのため、下げ平気及び基礎版から
2:42:09	速報地盤の同一標高の設定に絡んで購買要素を設定しまして、構造物と周辺地盤
2:42:17	相互作用を考慮し、そのステップ通行してございます。
2:42:24	1173 ページから 74 ページには、それぞれ東西方向南北方向のモデルを示してございます。
2:42:33	引き続き 1177 ページ、個別の 41 ページをお願いいたします。
2:42:42	隣接構造物のモデル化でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:45	隣接構造物の劣化につきましては、
2:42:50	先ほど 1170 ページと 71 ページに
2:42:54	図を示させていただきましたがページ前後せ申し訳ございません。
2:43:00	南北方向と東西方向それぞれ考え方がありまして、南北方向において隣接構造物となる原子炉建屋、
2:43:08	東西方向の取水量及び改良地盤、
2:43:12	につきましては、保守的な評価となるよう、森尾としてモデル化してございます。
2:43:17	また、復水貯蔵タンク基礎がkAタンク室統計タンク連絡ダクトとMMRを共有しており、言葉の振動を受けることから、
2:43:27	これらをモデル化を読解地震応答解析上モデル化してございます。
2:43:33	以降、3.2. 5 ということで、地盤とマンメイドロックのモデル化前提を設定減衰乗数と続きますが、これは、構造物と同じというところもありますので割愛させていただきます。
2:43:47	続いて 1189 ページ。
2:43:50	個別の 53 ページをお願いいたします。
2:43:55	こちら荷重の組み合わせになりますが、1193 ページまでにかけて記載してございます。基本的な考え方というところは顧客と構造物と同様でございますので、こちらについても説明割愛させていただきます。
2:44:12	続いて、1194 ページをお願いいたします。
2:44:17	個別の 58 ページでございます。
2:44:20	地震応答解析の解析ケースということで 1204 ページまで記載してございますが、こちらにつきましても他と同様に、
2:44:28	その考えでございますので割愛いたします。
2:44:37	一つ時方向荷重の選定というところで、
2:44:42	複数以上タンク基礎オリジナルがありますので、1201 ページで御説明いたします。個別の 65 ページをお願いいたします。
2:44:51	時方向の選定でございますが、先ほど申し上げました通り、復水貯蔵タンク基礎が
2:44:59	箱型構造物であり弱軸方向の影響についても確認する構造物になりますが、構造物と異なりまして、
2:45:08	円筒形の先併記を有するということもありますので、
2:45:12	東西方向と南北方向それぞれ強軸と弱軸が明確ではない構造物でございます。
2:45:17	そのため、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:19	東西方向、南北方向それぞれにおきまして、水平 1 方向及び鉛直方向の風を用いて消火照査を行いまして、最大照査値が最大となる方弱軸とし、
2:45:31	もう片側を強軸として評価を行うというところでございます。それ以降はた構造物と同じような方針でございます。
2:45:40	続いて、1105 ページ、個別の 69 ページをお願いいたします。
2:45:49	三次元構造解析について御説明いたします。
2:45:53	複数以上タンク基礎はシェル要素を用いた三次元構造解析により耐震評価を行います。
2:45:59	そん時に構造解析ですが、構造部材の剛性差というものが、
2:46:04	大きいものでございますので、上部工の再閉器バルブ室連絡ダクトは、
2:46:09	非線形シェル要素を用いた三次元静的材料非線形解析、
2:46:14	基礎版は線形セルもついた三次元静的線形解析によりそれぞれ構想解析を行います。
2:46:22	さげ平気とバルブストリングダクトのモデル化について、1206 ページに示してございます。
2:46:30	船型セールですが、材料の非線形特性を考慮した非線形シェル要素でモデル化いたします。
2:46:37	モデルの概念図としまして、1208 ページ。
2:46:41	に示してございますが、
2:46:43	部材高さ方向に平面予想重ね合わせて構成してございます。
2:46:48	資金 1 がその中心となるように、上が下側に鉄筋コンクリート層を設定しまして、鉄筋コンクリートそう除く範囲は無菌コンクリート層としてモデル化をしてございます。
2:47:01	これが非線形シェル要素のモデル化についてです。
2:47:07	続いて基礎版のご説明いたします。1109 ページをお願いいたします。
2:47:12	はい。
2:47:15	基礎分は線形シェル要素でモデル化いたします。
2:47:19	基礎版には頂部項として 5 決されております遮へい器バルブ室連絡
2:47:26	6 と。
2:47:27	による拘束を考慮するために下げ併記等のこれらを線形はり要素でモデル化をしてございます。
2:47:34	モデルの概念図を図の 4-4 に示してございます。
2:47:42	続いて 1211 ページ、個別の 75 ページをお願いいたします。
2:47:49	境界条件と地盤ばね要素、
2:47:51	についてご説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:54	今ほど申し上げました通り下げ平気バルブする連絡ダクトは非線形シェル要素でモデル化してございますが、これらは基礎盤の上側の構造物となりますが、こちらにつきましては、下げ平気バルブ戦略と底面につきましては、
2:48:10	保守的に下端を完全固定と。
2:48:13	そして、構造解析を行ってございます。
2:48:15	他三次元箱型構造物の通りになります、速報非線形ばね。
2:48:21	地盤ばねのモデル化してございます。
2:48:26	続いて 1213 ページをお願いいたします。
2:48:30	戦略 13 ページ、基礎版でございますが、
2:48:33	地盤ばねは同時加振にて東京示方書に基づき設定をいたします。人事につきましては、タツミの進藤と一旦するように基づき設定します。
2:48:43	こちらにつきましては、3. 解析を行うと構造物と同様の考え方でございます。
2:48:50	続いて次のページ 1214 ページをお願いいたします。
2:48:55	4.2. 3、材料非線形特性ということで、コンクリートの応力ひずみ関係等々を御説明させていただいてございますが、こちらにつきましては、非線形ソリッド要素を用いて海水ポンプ室等々トヨタ目になりますので、詳細は割愛いたします。
2:49:13	続いて 1218 ページをお願いいたします。
2:49:16	個別の 82 ページになります。
2:49:22	地震応答解析から得られたものを三次元コード解析に作用させる際の時刻の選定の考え方です。
2:49:29	捜査時刻は構造的特徴を踏まえ、損傷モード口頭で部材ごとに評価が厳しくなる時刻を地震とかその経過から複数選定してございます。
2:49:40	次のページをお願いいたします。
2:49:42	個別の 83 ページ全体の 1219 ページに表 4-1。
2:49:48	がございまして、こちら下げ平気バルブ室連絡ダクトの考え方でございます。
2:49:53	表がございまして、左側に時刻次に損傷モードを次に着目部位加振方向。
2:50:01	荷重抽出時刻と書いてございますが、それぞれ曲げ軸力剪断面内せん断破壊、こちらに対して損傷モードごとに
2:50:10	着目部位遮へい機能地上部であったり、地中であったり、ある物質連絡ダクト租税を
2:50:19	厳しくなる。
2:50:20	と考えられる時刻を選定しまして、
2:50:23	それぞれ地震応答解析から時刻を選定してございます。
2:50:27	で抽出時刻の 1 例ですが、例えば時刻 1-1 社平均の地上部着目ですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:33	地上部の
2:50:34	上端の地上部の転倒モーメントが最大となる時刻の曲げがいわゆる厳しくなる。
2:50:40	と考えられる時刻を選定してございます。
2:50:44	それぞれに対して、前 11 時刻を網羅的に抽出しまして、一波当たり 11 時刻に対する三次元構造解析を実施してございます。
2:50:55	次ページに基礎版の考え方がございますが、
2:50:59	同様に損傷モード着目部位について着目をして、
2:51:02	軸力を注説明でございます。
2:51:07	次のページをお願いいたします。
2:51:10	入力荷重についてですが、こちらについても構造物等ようで。
2:51:15	記載の通りとなります。
2:51:20	続いて 1235 ページをお願いいたします。
2:51:29	1135 ページ。
2:51:31	個別の 99 ページでございますが、評価内容として入力値の設定について記載してございますが、こちらについても、構造物と同様でございますので、記載の通りとなります。
2:51:43	1250 ページをお願いいたします。
2:51:47	影響限界の設定についてです。
2:51:50	曲げ軸力系の破壊につきましては、非線形スリット登用の考え方で、
2:51:58	歪に対するもの先般議論照査を行うということを記載してございます。
2:52:04	続いて 1254 ページをお願いいたします。
2:52:09	基礎版につきましては、線形シェルでモデル化するということもあり、短期許容力度を許容限界としてございます。
2:52:19	次のページをお願いいたします。次は、次のページ、1260、
2:52:23	個別の 119 ページでございますが、せん断破壊に対する許容限界を記載してございます。それについても、専決処理と同様な調査でございます。続いて 1261 ページをお願いいたします。
2:52:40	専念につきましては基礎版も同様に、短期許容応力度となります。
2:52:45	次のページ替え部材の面内せん断につきましては、時役に基づき見解剪断ひずみ 2000 マイクロとしてございます。
2:52:53	次のページをお願いいたします。
2:52:55	基礎地盤の申請に対する許容限界を示してございますが、こちらにつきましても構造物等々でございます。記載の通りでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:05	次のページをお願いいたします。全体、1264 ページ、個別の 128 ページとなりますが、6 章以降評価結果を示してございます。
2:53:14	構造強度を有すること及び要求機能でございます。間接支持機能を有することを確認してご確認してございますので、詳細の説明につきましては割愛をさせていただきます。
2:53:26	説明以上でございます。
2:53:32	規制庁のフジワラで説明終わりでございます。質疑のほうに入りたいと思います。
2:53:42	規制庁のエザキです。
2:53:44	えっとですね、こういう
2:53:47	読ませていただいて、
2:53:49	非常にわからないなと思ったのが二次元動的解析の事業、事業のですね動的解析の、いわゆる構造物のモデル化。
2:54:00	その考え方で、
2:54:04	基本的に言うと、これを読んでいる中で、基本的に、
2:54:11	質点系モデルで躯体も全部モデル化しているというRC部ですね、タンクを支点系にモデル化するというのはある程度理解できるんですタンクだけ。
2:54:20	D槽周りの躯体に関してはここだけ。
2:54:25	っていうか、ほかのですね、タンク類も含めて、
2:54:27	基本的には平面ひずみ要素で三次元の
2:54:34	モデルとですね。
2:54:36	ある程度
2:54:37	コーセーを合わせて評価して、
2:54:40	出しているのでここだけ。
2:54:43	そのモデル化手法が違うんですね、RCCRC部の
2:54:47	それがまず一つ理解できないのが 1 点。
2:54:51	なぜこうしているのか。
2:54:53	次に 2 点目が、なぜというよりは、これでいいのかというのがわからないとそれなぜそれでいいのかっていう
2:55:03	ことが基本としては書くかという、
2:55:05	実態的にはこうあるシームっていうのはあるかなり、
2:55:10	計上としては、
2:55:12	完全なほかの
2:55:14	軽油タンクとかですね、基礎とか土地があって、平面上に家計矩形じゃないんですね長方形ではないとか正方形ではない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:22	悪夢円筒形のもの、
2:55:25	立方体的なものと組み合わせているんですね複雑な形状していると。
2:55:30	そうしたときに、こういう 1. 系でモデル化してそう。
2:55:35	地上部にあるタンク基礎としてはこういった計算方法と、従来からあるっていうのは世の中一般的に理解をしているんですが、
2:55:44	地中構造物として考えたときに、果たしてこれで動的な総合作用力を求めて、そのあと三次元の構造解析に展開するような
2:55:57	どう地表地震時動圧とかですね。
2:56:00	そういったものが得られるような状況になっているとかっていうのが理解できない。
2:56:07	そうですね。
2:56:09	いわゆる
2:56:10	このモデルで創造的な地震応答性状を把握できていることになっているかということが、これはちょっと判断できないっていうのが一つです。
2:56:22	前提から言わしていただくと。
2:56:26	今言った話っていうのは、もう少し
2:56:30	わかりやすく言うと、
2:56:33	そう。
2:56:41	1145 ページにちょっと平面図があるんで。
2:56:45	この例を見ていくと、基本的には、
2:56:49	タンクの周りを覆っている遮へい器は円筒ですよ。それに対してベースマットは矩形になっていて、実際にバルブビットをダクトっていうのは、ほかの軽油タンク基礎と同じで、一応、
2:57:04	矩形の形状のを計上していると。
2:57:08	そうしたときに今、
2:57:11	こう円筒系に係る円筒系ですね、遮へい機能に関わると労働は作って 1 失点系で評価できるほどなんか。
2:57:21	伝統工芸面から見ると円筒なってますよね。だから、ある二次元でいうと、縦線のところのラインではなくて三次元的に奥行きがあって変化しているわけですよそう接触点っていうのは、
2:57:33	三次元的に
2:57:35	そういうことを行ったとしたならば、そこで変わることによって何が変わるかっていうと、当然そこに係る土の量が変わってきますよね。
2:57:45	立体的に考えていくと。
2:57:48	平面的に

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:49	接する慣性力は逆に言うと違うってことですよね。それをそう矩形に置き換えることがある意味矩形に置き換えているんですよね。
2:57:59	二次元では、
2:58:00	いわゆる
2:58:02	区あるシームと土の境界面と矩形でモデル化してるじゃないですか。
2:58:08	日付的には見た目でそうするとそういう形での動態で置き換えることが、
2:58:15	可能なのか。
2:58:17	可能なのかというかそれで果たして
2:58:20	設計的に
2:58:23	ある程度安全側の設計がなされているのかっていうのが我々としては判断つけがたいということなんです。
2:58:33	この辺は、
2:58:34	どう考えてるんでしょうか。基本的には机上構造物で、
2:58:39	一般の火力だとか普通のタンク、タンク地上タンクとかで、こういったモデル化してるのは理解はしているんですけど。
2:58:48	これは地上構造物で、しかもそう動的相互作用力というもので求めなきゃいけないって、それを三次元に展開するといった
2:58:59	そのことを考えたときに、かなり
2:59:02	わからない要素がたくさん
2:59:04	多いんじゃないかな。
2:59:05	今日は思うんですよね。
2:59:08	それと、今言ったのがそうわからないということで実際モデル化としての動的相互作用公算二次元でどのような形で、
2:59:19	表現されているのか。
2:59:29	この辺を
2:59:30	そう。まず回答していただきたいんですけど。
2:59:39	はい、東北電力ホリミです。
2:59:45	一つはさ復水貯蔵タンク基礎というものが多分も示すのものが、
2:59:51	副下げ切って、
2:59:53	円筒形の差経費でございます。円筒牽制利益もどうモデル化しようかなんて考えたときには、沸騰先行プラントでもございますが、円筒形の立坑等々ございますが、
3:00:05	増えるばねます。
3:00:07	日しぼんですとか、そういったモデルでモデル化することも多く、それに付随するバルブする連絡ダクトというのものも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:16	同様に、バイオマスでモデル化して、それらの相互作用というものがあるので、
3:00:22	聴盤が繋がっていることから水平方向をつないでいるというのがまず一つでございます。
3:00:27	はい、規制庁の佐々木ですけども、そこで
3:00:31	以上鉤物としては全体の曲げせん断的な挙動ですよ、机上構造物は事例本当ですから、自分で動いてるんですよ。
3:00:40	地震動によって活力かって。
3:00:42	ではなくて、周りに主導的にいわゆるマルチ囲まれて押されてるわけですよ。そうした時 2157 ページが、すごくわかりやすいんですけど三次元のモデルで行ったときに、
3:00:55	全体的に押されたときに、
3:00:58	円筒系ってものの総合性とどう評価するんですか。
3:01:02	ということと思うんですよ。
3:01:04	一つの壁の周りの壁の部分に強くなっていて、すごく剛性がそう円筒のマークの部分だけで全部評価すべきなのか、それともその局部的な。そう。
3:01:18	部分の変形も含まれますよね。
3:01:21	インターアクションとしてはそういったことから考えたときに、実態的に全体剛性、曲げ剛性とかですね。
3:01:31	それで全部評価できるのか、全体の剛性とかいうと、全体での剛性のやりとりだけになっちゃってるんですけど、実態的にはこうこう状態から見ると、基本的には、
3:01:44	円筒形で行ったときには
3:01:50	円筒形のせせシェル壁とかいった4分の1ぐらいの剛性しか見ないわけですよ。
3:01:56	うん。そういうのもあるし、
3:01:58	そういった実際にその壁にかかってくる部分の撓みも含めてどう評価するのかと、実際には検討する。上載
3:02:08	せるかみたいに建屋がそんなに剛性たくないですよ、障壁は、そういったときに、局部的な部分もあるわけです。だから片側をそろえて、もう片側をさされていないわけですよ。
3:02:25	対面する方は、そうしたときの評価って、
3:02:29	すごく難しくないですかという話なんですけど、それと具体的にはそのほうが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:38	福松的なあれと同じ線で考えて、外気一番外それぞれの線を入接点として、
3:02:47	考えたときにでも、もう少し数量としては多いわけですね。
3:02:54	上から見ると、RO描いてるんですか。
3:02:58	そう不足部分の
3:03:00	慣性力ってどう考えるんですかっていうのもあると思うんですよっていうのは、
3:03:05	構造物間で隣接構造物をモデル化しているので、その間で十分スポーツの料金が満足してるんですかって設計として、
3:03:13	そういったことを言っても、基本的には三次元なんで同感ですごく難しいですよ
3:03:18	ね。
3:03:18	今このモデルで妥当だっという判断が、そういう観点からすると、今、
3:03:25	そういった観点だけでも説明が難しいんですよ。難しいということをお方も判断できないってことなんですよ。
3:03:34	で、しかも、このバルブピット裾野壁ってというのは、
3:03:41	調整連絡ダクトとかですねバルブ室、上載どの辺ですね。
3:03:48	そういった荷重ってどう影響してるんですか。
3:03:52	それと、
3:03:54	今、今開いて三次元とかベースマット出てこないですが、ベースマットでさらにこれも大きい。
3:04:02	計上して、
3:04:04	四角ですし、閉弁的に見ると、割と正方形に近いような記述をしていて、そこによって、
3:04:11	どうサイドが載っていて、そういった影響もあるわけですね。
3:04:16	状況ができれば慣性力で浮き上がらさせないって話なんでしょうけど、やはり出してますんで。
3:04:22	そうしたものの影響とか踏まえたときに、
3:04:26	実際どういう設計をしようとしているのか三次元展開しようとしているのか。
3:04:32	いわゆるモデル化できていないところの荷重が多々あって、
3:04:37	そうしたものを三次元展開するのはかなり難しいんじゃないかなっていうのも一つです。そもそもそう。
3:04:45	全体の挙動
3:04:46	押さえているといっているけども、それが従来の地上構造物のタンク基礎タンク、タンク基礎と同様な方法で、
3:04:56	地中構造物の動的相互作用が評価できているモデル化になってるかっていうことが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:02	基本的には、実績として外ではないかなと、何で我々とすぐ判断つけがたいと
3:05:09	かなりこの三次元の動的解析の代わりにこれやってるわけですから、かなり30円。
3:05:17	の動的解析等ほぼ等々、
3:05:21	もしくはより簡便な方法なんで安全が
3:05:26	の設計にするっていうのが多分もとのコンセプトだと思うんですよね。
3:05:30	それらがどういふふうにしたら、
3:05:35	うん。
3:05:36	把握できるのか。
3:05:39	ということになると思うんですが、
3:05:41	そうするとですねやっぱり何か。
3:05:44	このモデルの妥当性を計測していただくしかないっていうのを最初の結論になると思います。
3:05:50	これを今の指摘を受けて、東京電力としては事前とか、
3:05:56	またですね、予備的な検討とか、
3:05:59	されているんでしょうか。
3:06:07	東北電力ホリミです。
3:06:11	一つまずモデル化の件でございますが、
3:06:15	ちょっと押せと円筒形なので、年度計で片側から押すと、
3:06:21	全体が三次元的に考えますと、全体の円筒形が荷重を負担しながら変形していくというところでございます。それをと等価の1本棒で10日以上モデル化をします。現状。
3:06:35	そのてきた荷重を三次元の構造解析に入れて、全体としての変形局所の変形を含めてですね、そういったものをどうなるかっていうことを二次元の三次元で検討はしています。
3:06:47	それを踏まえたときに、
3:06:52	比較対象がもうちょっと比較対象何と何で
3:06:57	検討しても教室として整理しました臨界二次元動的解析で地震荷重でいわゆる当圧を取り出して、それを全体のモデルである三次元構造階数にかけて局所的な荷重局所的な応力分布負担
3:07:12	局所的な3000円変形の三次元でモデル化したものに風かけますと、全体に荷重をかけますので、ちょっと全体変形に限らず局所的なかつ変形も出ますし、そういったところまで確認ができるように、二次元動的解析を踏まえて、
3:07:28	三次元構造解析を行っているというのが事実でございます。
3:07:31	で、地上構造物と地中構造物ということで大きな差があるというところですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:38	もちろん動的相互作用をどう考えているんだっていうところが問題かなというふうに思いましたので、こちらちょっと私の説明がちょっとはしょってしまったところもあるんですが、
3:07:57	1180 ページご覧いただきたいんですが、
3:08:01	こちら、ジョイント要素にはなるんですが、
3:08:07	中心にMMRがあって、浦和の南北方向でございますと、
3:08:14	赤枠で囲ってる順序そう作ってございますがこれは躯体の幅でございます。詐欺はあるところでございます。真ん中にモデル化としましては復水貯蔵タンク基礎、
3:08:25	各ビームを立ててモデル化しているんですが、
3:08:29	外壳差隔壁と地盤っていうものの動的相互作用があるので、御張りを先平気から地盤方向に達して、
3:08:38	土地盤の接点等、
3:08:40	構造物が連成するようにとバツを取り出してございます。
3:08:44	なので、それぞれ右変形左変形両方側からの増厚をとって、相互作用を考慮した地震応答解析モデルになってございます。
3:08:54	そのいわゆる射撃全体で受けとめているところの1本モデルで出てきた動圧及び慣性力を三次元構造モデルにかけて、全体系で評価をしているという流れでございます。
3:09:12	規制庁の矢崎です。多分これで立坑等の設計をしますアベしすぎなくて、こういったちょっと意見の形状で言ったようなものに関しての統括っていう話ではないんじゃないかなとは思っていて、
3:09:27	例えば、
3:09:28	これも志賀LNGとか、そういった
3:09:32	形で行ったときに実際どういう設計しているかということだと思うんですね。
3:09:37	そういったことも踏まえてあると判断しなきゃいけないし、多分このバルブピットストップを
3:09:45	連絡ダクト、
3:09:47	ものに対してはどうなのかってそれであと隣接構造物があるので、これは隣接構造物をモデル化しなくても無限に地盤があるような状態。
3:09:57	左右ですね。あればあまり問題ないんですけど。
3:10:01	それと、
3:10:04	特に断面で、今ん。
3:10:07	ありますよね。
3:10:16	ちょっと1180 ページでこれっていったときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:22	軽油タンク基礎等を
3:10:26	復水タンク基礎の間の
3:10:29	数量を含む数量で、
3:10:33	炉圧決まっちゃうんですね。実際にはこのこういう方向ではなくてもっと奥域は広がっている片方はトレン違ってないんですけどね。
3:10:44	で、実際に
3:10:47	こうした
3:10:49	状態で三次元の荷重を安全側に評価しているのかっていうと、わからないですよ。
3:11:01	実態としてですね、あと、いわばさっき言ったJA断面に関して言うと、特に左の部分に関しては、
3:11:11	道路ピット室とバルブ室だとか、あと連絡ダクトがあるんでその部分の蒸発苦情再度慣性力もあるわけですよ。
3:11:21	その部分がどういう影響を与えるのか。
3:11:25	っていう話もあると思うんですよ。
3:11:27	そうしたことから言ったときに、ここを基本的に、
3:11:33	荷重はこれで
3:11:35	妥当といえるのか。
3:11:37	すごく難しいんじゃないかなと。
3:11:39	思います。だから実際に欠けてる荷重がそれが実際の三次元として行った確率の状態がランダム化っていうのはわからないとちょっと判断できかねるなと思っています。
3:11:54	東北電力ホリミです。
3:11:56	共同の御指摘ありましたように、例えば 1145 ページコメントいただきたいんですか。
3:12:03	平面図で赤枠囲った範囲がMMRになります。
3:12:07	で、円筒形の遮へい機器があってバルブ室があるんでその周りには土がある。
3:12:12	その土からの慣性力だとバルブ室と連絡ダクトの上に土があるところの
3:12:19	風地名協定が漏れてるんじゃないかっていう戸籍だと思うんですけども。
3:12:24	すみません資料に記載して記載してなくて恐縮なんです。それとこちらすべからくSteam重量につきましても拾い上げて、
3:12:35	場合もそのません。
3:12:38	入れて入れ込んで慣性力として考慮してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:48	基本的に言うのですね、実際の粉末進む部分立体的な数として、その慣性力に応じた補正をしている。
3:13:00	いわゆる、そういうことかなと思ったんですけど、いわゆる
3:13:06	かつ、形としてはある設定に
3:13:10	府重量を付加するか、もしもしくは堆積重量を上げているか。
3:13:17	いずれかなとは思いますが。
3:13:21	ふうん。実際にそれだけでいいのかなっていうのはちょっとよくわかんないですよ。うん。
3:13:32	すみません
3:13:34	線量から等ですけども、
3:13:37	Cでしょうか。
3:13:39	規制庁ねだけです。どうぞ。
3:13:43	すみませんをモデル化をもし典型例をしていて、実際の形状を複雑なものを中心にシンプルに単純にモデル化をしているので、実際の形状に比べて荷重の評価は
3:14:00	保守的な行動なのか判断できないのでそれぞれ個別に要員説明。
3:14:09	シノイトウと判断できないという趣旨は非常によくわかりましたので。ちょっと実際の形状等を等もこういう質点系でモデル化したことの妥当性についてちょっと細かく応答採用取り上げて当検討。
3:14:27	説明資料作ったほうがいいかなと思いました。
3:14:30	なお、本件については建設時に閉とCSTタンクBクラス、一応だろコーン実績はあるものとして同様の当モデル化をしているというものをもっと申し伝えさせていただきます。
3:14:48	もちろんそういう検討するというので1回はでしょう。
3:14:52	はい、承知しました。
3:14:54	季節ですが、今伊藤さん言われてることは多分このモデルかを説明する上で妥当性ではなくて、説明性の構図を上げるということで必要だと思います。
3:15:07	もう一つ私妥当性ですね、検証が要りますよねっていうことだと思うんですよ。それはそう三次元動解でやればいいんですけど。
3:15:17	例えばその線形解析で落としてやってみるとか、渡そう三次元だけでも地盤も含めて静的な検討で、
3:15:25	やっているんですが三次元ですけどね。
3:15:27	何らしか、そう。
3:15:30	相互作用をはっきりさせないと。
3:15:33	この方法として問題ないよっていうことを歩いていただかないとなかなか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:39	説明をつくれるかなと思ってづき設計計算がおかしいか全部やりなさい、ギヤガスなきゃいけないとは思ってないですよ。ただ、モデル化の妥当性が説明できていないと言っているわけで、そうすぐ全部一番最初僕忘れたのは、
3:15:56	嘘不具合にこのモデルの
3:15:58	どのようにモデル化してるか。
3:16:01	詳しく書いていないんでまずわからないっていうのが一つ。それと、
3:16:06	妥当であるかがわからないという妥当性を説明してくださいっていう話で、そうすると、さっき言ったように、
3:16:12	それから三次元で何かとらせていただく必要があるのかなとそれは、
3:16:16	そちらの方、東北電力で三次元の静的解析である程度考えるのか、時間も含めて、
3:16:24	そうするとある程度
3:16:28	傾向的な分析にしかならないですけど、そう、そうするのか、ある程度
3:16:34	地盤は非線形するの大変であれば、
3:16:39	ある程度自信を
3:16:41	Ssを使ってみて、
3:16:43	線形Ssで傾向を使うするのか、タブ傾向ぐらいしかできても失火、それから、東京電力みたいにですね。
3:16:52	非線形の三次元解析を地盤も含めてやるのか、それはあくまでも設計と性はなくて、検証としてだと私は思っていて、
3:17:01	幾つか選択肢はありますよね。だから、モデル化手法とか、
3:17:05	研究で決めたときにも一つは、最初静的にやってみてとかいろいろありますよね。プロセスが、
3:17:11	それと同じように、基本的にはこれがこれで問題ないんだっていうのは、設計の考え方だけであって、そういった保守性を積み増していますといった話でも補正を詰めましたものが安全側に本当になっているという。
3:17:28	そういった妥当性を示してくださいっていう。
3:17:31	ということなんですよ。
3:17:33	もともと井戸さんが言われているように、従来そういった地上も地下もなく、基本タンクは、
3:17:40	これと機器のほう、同じような設計をしてるっていうことだとサイトウでも5としてあるんですが、
3:17:47	ただし、今、昨今、昔は昔という話で、
3:17:51	今は今の技術レベルの中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:54	基本的に適切な説明を、妥当性妥当な説明をいただきたいということが適合性の審査のねらいですから、
3:18:01	うん。
3:18:02	それはそれでちゃんと説明いただきたいなと思います。
3:18:09	東京電力とウエストの大変よくわかりました。また
3:18:13	妥当性ではなくて御説明する向上という点も
3:18:18	おっしゃる通りだと思います。なおですと妥当性につきましてはキリュウさんに業務を静的解析データという話がありましたけれども、基本的には二次元も時間もかかりますので二次元で込ま細かい個別パートごとにも、
3:18:37	できれば二次元例説明が保守性を説明できないかなと思ってますが、
3:18:45	一応議論ありきではなくて2事業も含めて当検討させていただきたいと思いません。以上です。
3:18:53	矩形のものがあれば2次系も可能だと思うんですけど、円筒けども系の買入れまじってるんで、それはよく考えていただかないと取り終わってしまう可能性もあるので、これ今回はそう実際の設計に使うって話ではない。
3:19:08	と思ってます検証なんで。だから例えばヨウ素数は大幅に落とし落としても構わないですし、
3:19:16	実際こういった形状のところで、表層地盤にかかる動同圧ってどういうふうに考えたらいいかと。
3:19:24	相互作用としてですね。
3:19:26	そこがメインだと思ってますんで。
3:19:29	その辺を、安全包絡できるような設計設備で実際にそれが、
3:19:35	こういった時超えたとしたならば、当期関西電力やってますけど、補正係数。
3:19:43	不確かさの補正係数。
3:19:46	とか入れて、最後も、
3:19:48	そう捜査結果に係るはかけて掛け算してるんですけどもありません。かなり膨大な計算をなさってるっていうのはすごく理解していますので、
3:20:01	ただ、ここの妥当性だけはしっかりと説明いただきたいということになります。
3:20:08	はい、東北電力の斎藤でございます。先ほどモデル化相互作用って話もありましたけれども実際モデル化の段階で、社会へタンクだけではなくてですね
3:20:22	えっと遮へい器とかのバルブ室へのグラウト全部えと剛性をつないで合成を模擬した形ですべてつないで相互作用及びどうぞこのそもそも見ているということで、セット実態的には

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:20:39	それぞれのものが入ってるんじゃないかというふうには思っております。ただ、江崎さんがおっしゃる通り三次元的なその円筒系に係るような等厚とかですねそちらのほうに関しましては、二次元系から取り出した三次元
3:20:54	のほうにかけるときにですね。三次元の円筒系のほうもに対して局面をちょっと局面状を模擬した形での三次元解析をやっておりまして同圧もそのような形で
3:21:10	管理してるっていうのは、こともしております。ただ、おっしゃる通りそのモデルの妥当性とかですねその辺がちょっとまだ問題が少し説明すべきこともあると思いますのでその辺は
3:21:25	今イトウの方が言った通り、少し考えてみたいと思います。
3:21:33	はい。以上です。
3:22:57	規制庁タニグチです。
3:23:01	普通一度タンクの話、もう
3:23:05	同じマンメイドロックに
3:23:09	軽油タンク、軽油たく質問てるわけですね。
3:23:14	これももうモデルカーに軽油タンク室のほうの設計のときにも、
3:23:20	復水貯蔵タンクのモデルも考えて、
3:23:27	かじを決めるって話を書いてありましたので、
3:23:30	同じG値はこちらでは影響してくるわけですね。イメージとしては、
3:23:36	だから同じマンメイドロックに乗ってる気相、
3:23:41	に載ってるものに構築物に対してすべて提供してくる可能性があるので、
3:23:48	その辺のモデル化については、ロジックを
3:23:52	まとめておかないと、説明性がなくなってしまう可能性があるので、
3:23:58	すでに復水だけじゃなくて、
3:24:01	kAたくもやられてるわけですから、
3:24:05	ここも含めてちょっと
3:24:08	という形で説明していくか。
3:24:12	ちょっと考え直していかなきゃいけないかなと思いますので、その辺を考えていただければと思います。
3:24:23	規制庁いただきですけども、今回復水タンクを先駆けて、これをやらせていただいているのは、系タンク基礎も初めのトリガーって、断面っていうのが9タンクも巻き込んど設計のITBなってるわけですね。だから、全部。
3:24:38	波及的な影響が出てきちゃうわけですね、影響出ちゃうんですよね。だから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:24:43	府個々である程度ちゃんと説明を今タニグチが一定にロジックから含めてですね、検証もできてるといふ絵である程度お話を進めていかないと、後々時間がかかってしまう可能性があるのでは、これは、
3:24:57	かなり慎重に、どこからでも崩れない企業実行を示していただきたいと思えます。
3:25:07	いや、よろしくをお願いします。
3:25:10	はい、東北電力にですね、2 節構造物も同様に影響があることといたしましたので、今回不良タンク基礎のモデル化について検証を進めて
3:25:24	ほかへの影響が最小限となるように、
3:25:27	ご指摘したいと思います。
3:25:31	規制庁エザキです。多分ですね、後は三次元特有の話でケーススタディケースの
3:25:39	ケース地震動、あとは時刻歴の選定っていうか絞り込みというのは前回と同じなんですけど、一つ。
3:25:46	思ったのは、すべての三次元がはっきりいえる話なんですけど、この時刻選定を
3:25:53	かなり
3:25:55	ページで言うと、
3:25:58	。
3:25:59	1292 ページから相当のページですと
3:26:04	示されています。
3:26:05	で、
3:26:06	結論は何ですかっていうのがわからない結論何かっていうと、
3:26:12	どういう結果結論という結果になったのか、多分すべてのに近い時刻をやっているのではないかなとは思っております。ただ、
3:26:22	もともと交付方針稟議書に書いてあるのかどうか、恒設に書いてある方針と同様に、
3:26:29	基本的には秒数がかかります
3:26:33	似通ってる 0.01 位は 1 ステップ 2 ステップの違いであれば、
3:26:39	どちらかですね、集約していると。
3:26:44	御選定してあとで多分想定地震荷重を見ながら選んでるのかもしれないんですけど、そういった
3:26:50	結果どういう時刻が最終的に残って三次元に
3:26:56	計算しているのが結論がわからないんですよ。
3:26:59	というのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:01	これを見ていくと、例えばの例ですけど、繊維 400 ページという存続を見ていただくと。
3:27:10	イトウ
3:27:11	一番上の
3:27:13	重要と 14、18tをされますよね、遮へい機能器上部中部は 25.
3:27:19	1 秒ということでぴったりジャストなんですけど、
3:27:23	各駅を見ると、
3:27:26	25.10 秒っていうなんか本当ダテ 1 秒で丸めてもいいのに出てきてるんですよ ねということはもしかしたら、かなりの数があつて言うのかなと。
3:27:36	思ってるんですけど、それでは出た分を追加する等部分、ここに評点が現れて いないけど、
3:27:44	チャンピオンケースから漏れてやって落ちちゃった時刻もあるんじゃないかと 思うんですよ。
3:27:51	そういったことだとFがどのぐらいのことをやられてるのかという、かなりのこと はやられてるっていうのはわかるんですけど、基本的にどのぐらいやってるかわ からない。9 をちょっと審査としては不十分だなと思ってまして、
3:28:05	それでも結論を言うんですけどね、さっき同層選定を幾つか候補を選びましたと層 厚結果。
3:28:15	選ばれた。
3:28:17	時刻は、そう。
3:28:21	地震動塗布組み合わせ係数の中で、
3:28:24	どこを時間を選んだ。
3:28:26	でどこ派出所除外したものは何秒なんですかっていうのがわかるような表を作 っていただけるとわかりやすいのかなと思うんですけど、今みたいなどころ。
3:28:39	東北電力ホリミです。
3:28:42	説明が不十分で大変申し訳ございませんでした。
3:28:46	1292 ページに今ほどお話がございました表 6 の 6-(1)を例に少し御説明さ せていただきたいんですが、6.12。
3:28:57	以前にこの章は、各照査時刻に、
3:29:00	着目した時刻の荷重抽出時刻の算定結果を示してます。これは先ほど示しま した。1219 ページの時刻 1-1 というふうに該当するものです。
3:29:13	時刻 1-1 というものが曲げ軸力系の破壊に着目して下げ平均の地上に出た ところだけの転倒モーメント最大時刻と、
3:29:22	という物の抽出をしてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:24	で示してございます表 6-6 の(1)、こちらは南北方向加振 66 の(2)は東西方向加振になります。
3:29:32	66 の(1)にお示してます核SSPワンフロアプライプラン
3:29:38	ここには計 14%の動解をやっているまして、その最大となった転倒モーメントとその時刻を記載してます。それに対してすべて全部こう記載してございますが、すべてのケースにおいて三次元構造解析を実施してございます。
3:29:53	わかりました。結果としては、
3:29:56	これが流れているものの秒数は全部やってるっていうことが多分、どっかに書いてありますか。
3:30:04	書いてあるんですけど、それからですけど。
3:30:07	目標があつて多分最後に何か。
3:30:10	まとめの求めとか結論とか、
3:30:14	そう。
3:30:15	はい。
3:30:17	なければ全体として何か基本的には、
3:30:22	もともと方針では 0 幾つっているんですよ。
3:30:27	ね。
3:30:28	錆びてるケースもあるあると思うんですよ。やったって悪いわけじゃなくて、下流とか見て、
3:30:35	大したことないよねっていう話があったらそれはスクリーンアウトできると思うんですよ設計としては、
3:30:43	少なくとも全部やってるならそれはそれでやってるっていう話してもらって、
3:30:48	更新は基本的に言うと、スクリーニングアウトしますよと確か量数が同じだし、近いSTEP数として非常に近い部分のものは集約できますって言うんですよ。それと
3:31:03	そう選定するをする上では荷重分布を睨んで確認した上で選定しますてるんですよ。
3:31:11	なので、
3:31:12	基本的方針、
3:31:14	が違うわけですね基本方針から、だから僕らとしては省略すごく僕が設計するのは省略したいですよ、当然、
3:31:21	普通楽するだろうと。だけど全部やっている中で全部やってるっていうふうに直していただくのと、あと実際計算をする施策を出しているところでは、ちゃんとそれはどうやってやっているのかというのは、
3:31:37	はっきり明記していただかないと、そこは多分やってるかもしれないけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:42	多分じゃ済まないとか審査などで、それは明確にしていなければと思います。
3:31:48	東北電力ホリミです。海水ポンプ室など、3 エリアの動解をやって、その時刻を比較するというものに対しては、おっしゃる通り、
3:31:58	被告の違うものだよというところがありましたので、
3:32:01	平成困りますてこちらの復水上端基礎については、そういった考えになってしまっているというところもありましたので、前ケースによって、
3:32:12	構造が違っているという旨がわかるように記載のほう充実化させたいと思います。
3:32:17	以上です。
3:32:19	すいません 1 棟ですけども、繰り返しになりますけどすみませんアノン前回漏えいと取水口のヒアリングのときに、ウエキさんからをやっている内容がわからないと言われてそこをしっかりとを解析する群馬二次元動解から等も 310 円に、いや、
3:32:39	解析しておる周囲の表集約してらっていうそのシナリオと記載シノを相当適正化しようと思っておりますので、ここも制定と適正化させていただきます。なお 0.050. 1 秒の荷重を比較して洞道等も同様の荷重になっている場合を集約するという。
3:32:59	もう取水口で書いていたんですけども、Druittの取水口だとか、海水ポンプ数については一つの構造 30 構造解析をやるのに、複数のと二次元動解と時刻の荷重を合わせて黄砂をさせるというそういう構造物については全部 0.1 秒で集約をしているものは、
3:33:19	ありますのでそれもわかるように当海水ポンプ室と取水口については記載をさせていただきます。以上ですすいません。
3:33:44	規制庁の三浦です。
3:33:46	ちょっとこれ今の動的解析モデル毎回整理していただくってことなんですけど、ちょっと今の時点でわかると教えていただきたいんですけど、
3:33:56	まず、多分 1180 ページがいいと思うんですけど。
3:34:03	180 ページ。
3:34:08	ここに動的解析モデル二次元の
3:34:12	FEMモデルでありますよね。
3:34:15	これで今復水貯蔵タンクとか、そのタンクに行きそうなんかは二次元で幅とつてる基礎保とってるんですね。
3:34:28	基礎の長さ。
3:34:30	地盤だから今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:34:32	ジョイント要素で赤で囲まれてるこの長さというのは、基礎の長さ。
3:34:38	そうですね。
3:34:46	東北電力ホリミです。基礎版の幅そうですねありますんで。
3:34:51	今、号炉復水貯蔵遮へいかな射撃っていうのは遠景ですよねさっきから出てるように0。
3:35:00	このモデルっていうのは奥行く方向に1メートルかな、単位長さ当たりになっているモデル。
3:35:06	ですよ。そうすると、
3:35:09	その円形の遮へい機っていうのはベンノをだめ性能を奥行き方向の直径を割り込んでるやつを入れてるんですか。
3:35:28	いや、取り組めその辺のところはわからないですよ。あと、
3:35:33	附属しているものところもばいわゆる床ばね、バラ要素をつけてたりしますよね。
3:35:41	それはどういうふうに見ているのかなとかね。
3:35:45	あとは先ほどちょっと言ってたんですけども、
3:35:53	バルブ指数とかその上に乗ってる土の地震による慣性力というか炉圧の評価もこれを考慮できるんですよっていうお話されたそれはどこの部分に載せてるこのモデルの中で、ここで表れてるのかとかですね。
3:36:10	ちょっと
3:36:12	私もちょっと見てて、ちょっと理解ができないところがあったんですよ。で、
3:36:18	おそらくおそらくですよ。
3:36:20	そちらの方の意図と合ってるかどうかわからないんですけど、幅を基礎幅でとってそっから求めてくる。
3:36:29	道道圧なりを、この三次元のFEMに入れてくるときには、先ほど言ったように今度はその動圧を円形分挽そろえて入れてきたりってことを多分されてるのかな。
3:36:42	おそらくロッキングをされてるんでこの方が動圧評価としては厳しくなるのかなっていう気もするんですけど、多分いろんなことを考えられて、このメートルに落とし込まれてると思うんで、先ほど伊藤さんが言われたんですけども、こういうところでこういう保守性を持ってこうモデル化してるかっていうのは先ほど出ておりますけど。
3:37:02	1回御説明
3:37:04	していただいたらいいかなとあと、
3:37:06	応力解析戻る今度落とし込むときに、道路改正労働三次元でモデル化してるじゃないですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:37:13	で、
3:37:14	或いは隻外今度上部分離してるんですか。
3:37:21	その辺ってどうしてですか。
3:37:24	言ったようにしなかった。
3:37:26	東北電力の斎藤でございます。まず区域先を聞いて、この先の話です、タ ンクのAは取手店の加藤層構成の考え方とか、それをちょっと先ほどと同じよ うな形で整理して御説明させていただきたいと思います。
3:37:45	それと三次元のほうの情報とか部開けていることに関してなんですけども、下 部工基礎版というのは簡単に御 5 メーターっていう厚いものでして、ここ同じ剛 性がかなりちょうど
3:38:01	今度違うので、共同としてですね、マーケット分けて計算しているわけたモデル 化をしているというようなことでございます。
3:38:13	規制庁伸びるそれで例えば基礎版に与えてくる力ってというのは、動的解析か ら求まってくるし、電力を
3:38:20	何らかの力の空力の形を変えたりして載せてますよね。
3:38:25	なぜ上部の応力
3:38:28	解析モデルがあるのにその反力を入れなかったのかとかね。
3:38:32	何かそれのところもちょっと単に地震応答解析モデルだけではなくても応力解 析モデルで、どういうふうに考えて
3:38:43	保守性を持って、その地震応答解析結果をどういうふうに応力解析モデルに 入力しているとかですかその辺の
3:38:52	ちょっと流れを全体をですね、ちょっと教えていただければと思いますのでよろ しくお願いします。
3:39:00	はい、東電ホリミスターの土地のスタッフでそれぞれモデル化している理由は そのおそれと後世査定もちろんあります。一つはそれぞれが保守的な設計津 波って意味で、兆候については底面完全固定と。
3:39:15	として、より変形するような形でモデル化してますので基礎版を
3:39:21	基礎のロッキングを厳しくなります。それで一番ロッキングが
3:39:27	上をうちの部下も低下すると、全体の剛性がありますので、6 件しづらくなると ころもあるので、基礎版
3:39:35	単体
3:39:37	でモデル化をしているということで、
3:39:40	お話いただいた通りイトウ 2231 ページに、ちょっと先ほど説明割愛させてしま ったんですが、それぞれの
3:39:50	上部構からの反力

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:39:53	1229 ページに増加のモデル図がございまして、セメントの線形バネで産休はり要素でモデル化した。
3:40:01	底面のMSを取り出して、それぞれの差、基礎版の
3:40:09	射撃であったりバルブっすぱっとそういったところにMSを対応させた解析を行ってございます。
3:40:17	なので、1000Kで取り出した荷重、
3:40:26	疲れた反力を感覚として言っているというようなことで考えてございました。
3:40:39	覆土三次元モデルから出たということでしょうか。
3:40:48	規制庁エザキです。多分ですね、設計の計算のやり方が、かなり建屋の
3:40:56	売る解析と異なる類似しているの、そうするときに、浮上過程でやっているやられてることがやられていないと、違和感感じるんですよね。
3:41:06	そういうこともあるので、みずからですね、
3:41:11	そちらの建築後、
3:41:14	ある程度意見交換してですね、何か足りないものがないかどうか、それは外貨で組み合わせていることができてるかどうかも含めて、精度でチェックいただけないでしょうか。
3:41:31	はい、東北電力の斎藤です。基礎版への上部構からの反力の件ですね今ご説明した通り地震応答解析モデルの結果を使って今やっていますので、皆さんのおそれだけの話した通り縦
3:41:46	三次元コード上部工の三次元のその反力っていうことに関してもちょっと建築とかの話もちょっと確認。そう。確認というかですね、
3:41:59	見ながら、ちょっと今の補正というか妥当性を説明できればと思ってます。以上です。
3:42:09	競うかないうガンダム特に問題ないんですが、基礎版もこれ平面で取り出して、上部工の剛性を倍の予想で入れてますよね。
3:42:18	これはどういうものを入れてるかとかね。
3:42:20	そういう説明もちゃんと戻るカー落とされているかという考え方は説明された方がいいと思いますね。
3:42:33	すみません、ちょっとその辺のところは少し説明していただければと思います。
3:42:37	東北電力の斎藤です。承知いたしました。以上です。
3:44:19	規制庁フジワラです。私のほうがちょっと簡単だというと、通しの 100 頭 1172 ページで、
3:44:28	当構造物モデル可能、この一番下のパラグラフのなお書きで、要は失点系モデル等の周辺地盤との

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:44:38	接続操作のところで統合張りを設けるとそれは遮へい引きと基礎版については速報地盤等向こうがやりますバルブ室とかいうのは何か或いは連絡連絡ダクトかあんまり
3:44:55	午後に入ってなくてこれは何か意図的にそうされているっていう理解でよろしいですか。
3:45:03	東北電力ホリミですと、
3:45:07	先ほどの平面図でもあるんですがほとんどの
3:45:10	溶接部分が射撃ということで債券併記を代表して地盤と接しています。そうするとバルブ室、
3:45:19	ベストか連絡ダクトというものをどう考えてるんだっていうことになると思うんですが、土佐経費等を 1001173 ページのモデル図を御確認いただきたいんですが、
3:45:31	そこに
3:45:32	さてモデルを示してございます。上野モデルでいきますと、真ん中にとって逃さ平気でございます。その左にバルブ室と連絡ダクトをそれぞれビームを立ててございます。これらは一体の部材となっているので、
3:45:47	頂部位置で水平方向のばねでつないでございます。
3:45:51	なので下げ平均につきましてはバルブ室と連絡ダクト、それらの剛性を踏まえた全体的な挙動をの剛性を踏まえたやつ。
3:46:01	構成で同圧を受けるようなものとして、その動圧をとってくるというような形で、
3:46:07	一定の
3:46:08	遮へい器から
3:46:11	5 番の張り出して荷重とってますのでその荷重につきましては三次元構造改正を行う際には下げ併記だけじゃなくてバルブ室ですから連絡ダクトとすべてに動作してございます。
3:46:26	以上です。
3:46:34	富良野記載していなかったもので、今のラインにつきましては、図書に記載していない内容でございますので、記載の充実化等を図りたいと思います。
3:46:55	はい、規制庁まあこれはもうエザキ冒頭から申し上げているように要はそもそものこの評価の考え方が塚浜これ従前からシュツ推移のべし結局曲線部とか或いは扱う或いは
3:47:11	もっと言うと原子炉補機冷却海水管ダクトの鉛直だとか、あれから繰り返し申し上げている全体的にどういうふうなふん宿直ですかね。
3:47:21	全試験ですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:47:24	どういった地層でそういったモデルを組み立てているかどうかの考え方っていうのがやっぱそれはやっぱ通して全体的な考え方はちょっとやっぱ当社で評価の要は全体配置図みたいなやつですか、こういうふうな考え方をやってます。
3:47:39	それぞれ個別の施設で当然考え方違いますので、ただ大きな枠組みとしてはそのやっぱ参事に動荷重を三次元のモデルに動荷重をかけるかとか、そのためにどういうふうにモデル化やってるかで、実際のさっきのモデルの妥当性的なところというのはまた
3:47:58	じゃあそこは見させていただきます。
3:48:01	私のほうからは簡単なやつでいうと 1201 ページ。
3:48:08	これちょっと今記載だけかもしれませんが、この 1201 ページの 2 パラ目の上から 5 行目。
3:48:16	それと水平 1 方向鉛直方向の荷重を用いて照査を行い、照査値が最大となる方向弱軸方向とし、結局水平 2 方向で耐震評価を実施するこの
3:48:29	基本的にはし水平 1 方向鉛直荷重の
3:48:33	用いて照査を行って来た照査どっか記載があるんですけど。人させた結果、結果としてどこが弱軸になったんですけどこの弱軸になったから、水平 2 方向による評価を実施したとはおよそその結果程度か。
3:48:49	あるんですけど。
3:48:51	いうところですけど。
3:48:56	東北電力の斎藤です。1001003 等シノ 1341
3:49:03	41 ページとか 42 ページにですね。
3:49:09	こちらが一番上の表題のところに、
3:49:15	コンクリート試験ひずみ南北
3:49:18	そうですね。
3:49:19	あと、ずっと進んでいきますと、
3:49:23	同じ金口圧縮ひずみ東西の 1362 ページに出て参りますのでこちらの両方を南北東西やってまして、そちら。
3:49:39	結果をこのような形で整理を 1 方向荷重として整理しております。
3:49:46	以上です。
3:49:54	水平 2 方向に関しましては、少々お待ちください。
3:50:05	はい。
3:50:06	その下の 1409 ページに水平 2 方向の
3:50:10	ありまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:50:15	例えば表の 6-31 とかですと、例えばコンクリート構造強度を有することに関する確認としましてコンクリート圧縮ひずみで真ん中ぐらいに地震動でございますけれども、
3:50:27	そちらが周方向がSsd分ということで、その脇に加振方向、周方向、東西という形になってまして先ほどの
3:50:39	整理した表から食事高校を決めてこちらのほうは東西方向が弱軸だということにこのような形で整理しております。以上です。
3:50:53	はい、規制庁すぐわかりますので、ちょっと私がトウソウこれちょっとわからなかったのは、この 1201 ページで 10 方向荷重を選定しますってなっていて、じゃあ 10 方向荷重はこれですってというのがどっかで
3:51:08	書いてあるかなあとと思ったんですけど、今んとこともなんかなく程度 1409 ページに行ったら、さっきのなんかたくさんある表から想定してくださいねっていう、そういうぐらいですかね、要は専任 109 ページにちょっとここ、この結果から、
3:51:24	市方向は工事方向は工程にちょっと書いていただければというよりわかりやすいかなと思った次第ですはい今記載だけですけど。はい、東北電力の斎藤です。2 方向、今の予算のご意見承知いたしました。
3:51:41	非常に膨大な数値の率のところからいけないというふうなことで、ここですからここわからないっていう、ちょっと見づらい構成になってましたので、
3:51:52	ちょっとわかりやすいように表現したいと思います。以上です。
3:51:57	規制庁言ってるだけちょっと、1212 ページをちょっとお開きいただきまして、
3:52:05	1212 ページは当二次元で出した動圧は三次元のやつにこう書きますというやつで、ちょっと私がわからなかったのは、常時の動土とかつちゅうのは、どういうふうに欠けている。
3:52:20	かなっていうのが、
3:52:23	そういうふうな記載がありました気合いを乗じてなかった分、1 方向だけ多分さ A社平気円筒状に
3:52:30	多分かけるんだった再アベ直行方向に吹くんですか。
3:52:36	それとなんかこう
3:52:38	どうやっているかちょっと止まった感じなかったら気相対象
3:52:52	電力の斎藤です。1222 ページ。
3:52:56	お開きください。
3:53:04	こちら常時荷重、の書き方について記載しておりますて載せ製造物とかですなその辺に関しては図の 4-16。
3:53:14	基礎版に関しては、その下の(2)というような形ので。
3:53:19	はい、書いてございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:53:25	規制庁の米津製紙どうするこうだと思っただけの上自動通話等価いい結果から持ってきてるんじゃないんでしたっけ。
3:53:34	動解モデルで入れてきたときの
3:53:37	静止度圧を
3:53:39	入れてるんじゃないですか。
3:53:43	ほかの土木みんなそうですよね。そんやられてますよね。
3:53:48	そういうふうな二次元の動解モデルからもしもこれも同じようにやってるとするならば、
3:53:54	さっきの二次元モデルからここの静的動圧を求めるのはどういうふうにあつてののかなとかね。
3:54:00	それから、ちょっと先ほどFじゃないす 70 銭に 212 ページで、これ地震時荷重
3:54:08	完全にこれは平行方向にかけての、これは地震時荷重
3:54:13	慣性力のこと言ってるんですか。
3:54:16	で、
3:54:17	地震時炉圧っていうのは、先ほどちょっと御説明流れたけど半円状に入れてるっていうか、
3:54:24	ですか。
3:54:27	そういうのってどっかに書いてあります。
3:54:34	実施分。
3:54:39	確かに御講話Ⅱについての何かどういう言い方をしているのかなっていうのは、
3:54:44	わからなかったですね。
3:54:46	三次元モデルにどうかモデルから求まってきてるとはどういう入力してるのかってのはわからなかった。
3:54:58	電力ホリミです。
3:55:01	地震で応答解析をやって地震時増分到達を取り出せるという形になりますので、そういった記載が流れが全体はそういったの常時の対策。
3:55:13	はい。そういったところも記載を充実化を図って
3:55:18	それでわかるような形で取りまとめをいたします。
3:56:02	はい。
3:56:03	イトウ
3:56:05	復水貯蔵タンクに関しましては、
3:56:08	じゃあ、以上、こちらの方から質疑は以上でソトグループさんの方から何か。
3:56:13	この件について、
3:56:16	ただ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:56:17	本店、
3:56:19	ありますか。
3:56:21	神谷町からベンノです。すいません。いろいろと議論を図りにくい資料だったり或いはの妥当性を昼間保守性について御説明或いは解析からいけないんじゃないかというご指摘押し上げございません。一応ルールをいただいたコメント踏まえましてですね最速でやれることをちょっと考えまして、
3:56:40	場合によってはこういった方向でやりたいということについてですね、またヒアリング等でまず方針段階のときに、場合によっては御説明させていただこうと思っておりますのでよろしくお願いします。本日申し訳ございませんでした。
3:56:55	はい。一応モデルの妥当性っていうところをちょっと何か大きいそうになる可能性っていうの作ったと。
3:57:04	においがダメまして、ちょっと要はうちの今のチームとしては容認、
3:57:11	どこがどこまで思いがスケジュール化に影響あるかってのはちょっとまだ考えてると組めたと思いますので、まだどういうふうにならうかと方針とかですね決まりましたらちょっとまたきちっとそれが今の説明をいただきたいと思います。
3:57:26	じゃあ、今日のヒアリングとしては以上とさせていただきますので、よろしいですかね。はい、東北電力のサイトウですともありがとうございました。
3:57:36	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。